

# 令和7年度事業報告書



社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会

## 目 次

総括	3
社会福祉協議会運営基盤の強化	4
在宅福祉推進事業	9
高齢者福祉事業	13
障害者福祉事業	22
児童福祉事業	27
地域福祉推進事業	30
ボランティア振興事業	36
厚生福祉事業	40
福祉関係組織活動支援	43
災害支援活動と災害ボランティアセンター活動報告	45

### 福祉標語

ささえ合い つながり合い え顔あふれる京丹波町  
支え合う 温かい心が 町照らす

福祉まつり（令和6年度）で募集した福祉標語。  
この標語をもとに、住民みんなが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して取り組んでいきます。

## 令和7年度事業報告

### I 総括

はじめに、京丹波町社会福祉協議会（以下、本会）が運営する共同作業所で発生した個別支援計画未作成と報酬の自主返還については、利用者をはじめ多くの皆様にご迷惑とご心配をおかけしたことお詫び申し上げます。京都府と京丹波町の指導のもと法人全体で再発防止に取り組み、職員一人ひとりが法令遵守を徹底し「誰もが安心して、その人らしい暮らし」を支援するため自身の業務を見直してまいります。

令和7年度、本会は合併20周年を迎え大きな変革の年となりました。

介護保険制度の創設期から運営してきた通所介護事業（デイサービス）は、12月末をもって廃止となりました。設備の老朽化と利用者の減少、町内に同サービスを提供される事業所も増えたことから、本会の通所介護事業が果たす役割は終了したと考えております。27年間、多くの方々にご利用ご支援いただきましたことを感謝するとともに、今後は、訪問介護事業を強化し単身世帯や高齢者のみの世帯、また障害者世帯へのニーズに対応していきたいと考えています。

また、過疎化に伴う人口減少や高齢化によって地域のつながりが希薄化するなかで、地域の新たな見守り活動として「わんわんパトロール」をスタートしました。これは、愛犬との散歩の時間に「地域を見守る目」をプラスしていただく活動で、7月に募集を開始するとすぐに30名を超える方々に登録いただくことができました。登録いただいた方からは「住民や子どもたちとあいさつをかわす機会が増えた」「地域をより見て回ることを意識した」と地域での新たな繋がりや見守り意識の向上につながりました。

さらに、第2期京丹波町地域福祉活動計画に定めた「いつでも参加できる活動づくり」に基づき、新たな居場所づくりとして「健康マーじゃん」の取組みもモデル地区で開始し、定期的な実施に繋がっています。参加者のなかには、新たな居場所や役割が得られたことで毎回開催を心待ちにされており、次年度からは更に他の地域にも広げていきたいと考えております。

他にも、自宅で過ごすことが多い人や障害のある人、創作活動が好きな人などが自由に表現し合い、つながり合う作品展「コレカラー展」は、4年目となった今年も大人から子どもまで多くの方に参画いただき、一人ひとりがありのままにいられ、安心できる場として開催できました。

財政改善に向けた取り組みでは、町内事業所等にご協力いただく特別会費・賛助会費、寄付金については昨年を上回るご支援をいただくことができました。また、利用状況に合わせた勤務体制の見直し、日々の経費の削減にも取り組んだことで今年度も何とか黒字決算でしめることができました。しかしながら、自主財源となる通所介護事業の閉鎖や一般会費の減少など、まだまだ安心できる状況ではないため、今後も常に財政状況を確認しながら引き続き改善に向けて取り組んでまいります。

以下、令和7年度本会が取り組んだ事業について報告いたします。

## II 社会福祉協議会運営基盤の強化

### 1 活動財源の確保

#### (1) 会員増強運動

社会福祉協議会(以下、社協)は、地域で暮らす住民の皆さんが主体となって運営される民間の団体であり、住民の皆さんに会員となっていただき住民主体の福祉活動を進めていきます。

会費を納めていただくことで、地域福祉の推進に取り組む社協の貴重な財源となり事業の運営やサービスの参加・協力を財政面で支えていただくことになります。

#### ①会費納入状況

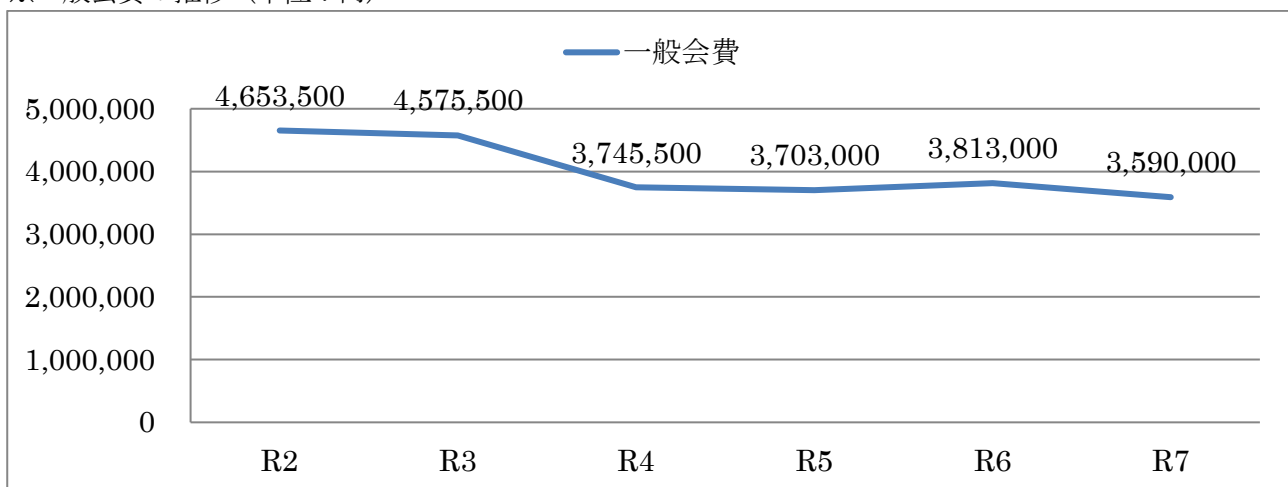
会員種別	丹波	瑞穂	和知	町外	合計	備考
一般会員	1,357,000	1,194,000	1,031,000	8,000	3,590,000	成人者：1,000円
特別会員	345,000	350,000	250,000	115,000	1,060,000	会社・事業所等：5,000円
賛助会員	24,000	0	6,000	0	30,000	福祉施設・団体等：3,000円
合計	1,726,000	1,544,000	1,287,000	123,000	4,680,000	

#### 一般会費地区ごとの内訳

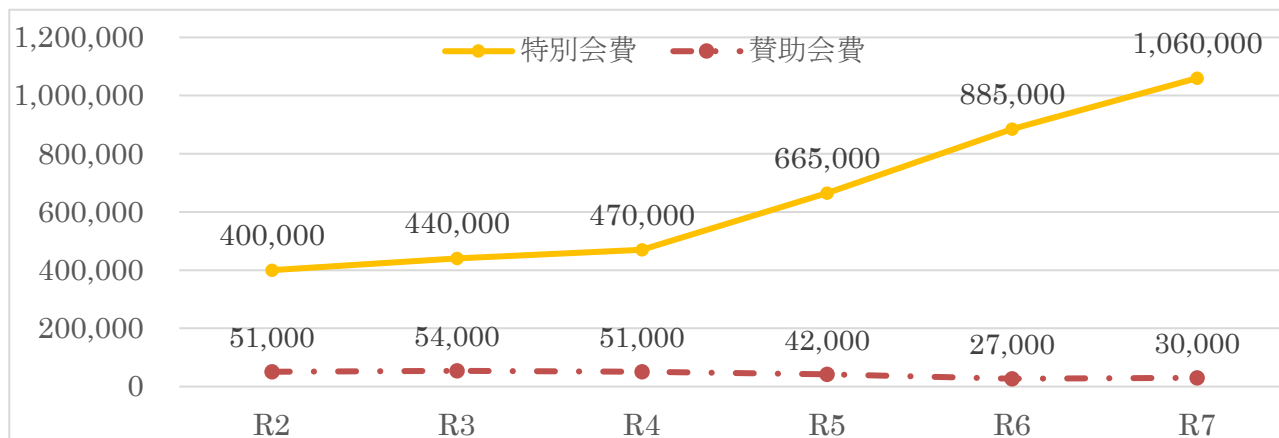
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
丹波	会費	1,803,000	1,770,000	1,450,000	1,450,000	1,444,000	1,357,000
	成人数	5,855	5,808	5,821	5,821	5,615	5,537
	加入率	30.8%	30.5%	24.9%	24.9%	25.7%	24.5%
瑞穂	会費	1,540,000	1,519,000	1,253,000	1,253,000	1,241,000	1,194,000
	成人数	3,532	3,453	3,416	3,416	3,278	3,232
	加入率	43.6%	44.0%	36.7%	36.7%	37.9%	36.9%
和知	会費	1,305,500	1,281,500	1,035,500	1,035,500	1,121,000	1,031,000
	成人数	2,471	2,386	2,349	2,349	2,221	2,157
	加入率	52.8%	53.7%	44.1%	44.1%	50.5%	47.8%
全域	会費	4,653,500	4,575,500	3,745,500	3,703,000	3,813,000	3,590,000
	成人数	11,858	11,652	11,586	11,368	11,114	10,926
	加入率	39.2%	39.3%	32.3%	32.6%	34.3%	32.9%

※全域には町外の8,000円分を含む

※一般会費の推移(単位：円)



※特別・賛助会費の推移（単位：円）



【成果・課題】

- ・特別会員は、役職員が今年度も積極的に声掛けを行い過去最高の 116 事業所、212 口のご協力をいただくことができた。賛助会員も昨年より増加している。
- ・一方、一般会員は昨年度に比べ減少となった。対象となる成人人口が減少していることも考えられるが、加入率は 32%であるため、本会の取組みや活動の意義をさらに住民の皆様に伝え、協力いただけるよう取り組む。

(2) ご寄付を広くお受けできるように

社協は、既存の制度や事業に取り組むだけでなく、制度による福祉サービスでは十分に対応できない問題や制度の狭間にある福祉課題・生活課題に向きあい、地域の皆さんの参加や協力を得ながら地域に根ざした取組みを積極的に進めていくことが求められています。その財源として、地域の皆さんからの寄付金を活用させていただいております。

地域の皆さんからご寄付として支援をいただきやすくするために、地域の事業所にもご協力いただきながら以下の取組みをしています。

①自動販売機による寄付の取組

飲み物を購入するとその売り上げの一部が自動的に京丹波町社協へ寄付される自動販売機を、道の駅丹波マーケス様（丹波地域開発株式会社：京丹波町須知）、道の駅さらびきの里様（グリーンランドみずほ株式会社：京丹波町大朴）、アズビル京都株式会社様（京丹波町鎌谷下）、京丹波町役場本庁（京丹波町蒲生野）に設置させていただいております。

寄付実績

	道の駅 丹波マーケス	道の駅 さらびきの里	アズビル京都 株式会社	京丹波町役場	計
合計	39,251円	77,411円	81,167円	25,146円	222,975円

【成果・課題】

- ・昨年度を上回るご寄付をいただき、貴重な福祉の財源となっている。今後も社協の取組みを広報するとともに、新たに自動販売機の設置にご協力頂ける事業所を増やしていきたい。

②税額控除制度について【終了】

京丹波町社協では、京都府から税額控除対象法人として証明を受けていました。令和7年10月で有効期間が終了となり、引き続き更新を目指しましたが、要件（3,000円以上の寄付者が平均して年100人以上）を満たすことができず更新ができなかった。

【成果・課題】

- ・高額寄付をいただくことがあるものの、年々寄付者は減少傾向となっている。

2 法人運営

●会 務

(1) 理事・監事会・・・5回

<p>R7.5.27</p>	<p><b>【報告事項】</b>  社協会長職務執行状況の報告  作業所について</p> <p><b>【議 事】</b>  任期満了に伴う評議員候補者（案）について  令和6年度京丹波町社協事業報告（案）について  令和6年度京丹波町社協資金収支決算（案）について  令和7年度第1回評議員会の開催（案）について  京丹波町社協（全職種共通）就業規則 別表2の一部改正（案）について  京丹波町社協給与規程（正職員）の一部改正（案）について  京丹波町社協嘱託職員給与規程の一部改正（案）について  京丹波町社協非常勤職員等給与規程の一部改正（案）について  京丹波町社協登録ヘルパー給与規程の一部改正（案）について  京丹波町社協登録ヘルパーの賃金及び手当表の一部改正（案）について</p>
<p>R7.6.10</p>	<p><b>【議 事】</b>  京丹波町社協正副会長の選任について</p>
<p>R7.8.29</p>	<p><b>【報告事項】</b>  社協会長職務執行状況の報告  財政状況について  作業所について</p> <p><b>【議 事】</b>  京丹波町社協給与規程（正職員）の一部改正（案）について  京丹波町社協嘱託職員給与規程及び別表「職員賃金表」の一部改正（案）について  京丹波町社協非常勤職員等給与規程の一部改正（案）について  京丹波町社協登録ヘルパーの賃金及び手当表の一部改正（案）について  京丹波町社協育児・介護休業等に関する規程の一部改正（案）について  令和7年度第2回評議員会の開催（案）について</p>
<p>R7.12.4</p>	<p><b>【報告事項】</b>  社協会長職務執行状況の報告  財政状況について  作業所について  福祉まつり報告</p> <p><b>【議 事】</b>  令和7年度補正予算（案）について  令和7年度上半期事業執行状況について  令和7年度上半期予算執行状況について  令和7年度第3回評議員会開催（案）について  評議員選任・解任委員の選任について</p>
<p>R8.3.9</p>	<p><b>【報告事項】</b>  社協会長職務執行状況の報告  財政状況について  作業所について  法人運営監査報告</p> <p><b>【議 事】</b>  令和7年度第2次補正予算（案）について  令和8年度事業計画（案）について</p>

	令和8年度資金収支予算（案）について 定款変更（案）について 令和7年度第4回評議員会開催（案）について 評議員の選任・解任（案）について
--	--

(2) 監査会・・・2回

R7.5.20	令和6年度事業及び収支決算についての監査
R7.11.28	令和7年度上半期事業及び予算執行状況についての監査

(3) 評議員会・・・4回

R7.6.10	【議 事】 任期満了に伴う理事・監事の承認について 令和6年度京丹波町社協事業報告（案）の承認について 令和6年度京丹波町社協収支決算（案）の承認について
R7.9.12	【報告説明】 京丹波町共同作業所の個別支援計画未作成について
R7.12.24	【報告・確認】 共同作業所について 令和7年度上半期事業執行状況について 令和7年度上半期予算執行状況について 財政改善に向けた取り組みについて 【議 事】 令和7年度京丹波町社協補正予算（案）の承認について
R8.3.27	【報告・確認】 共同作業所について 財政改善に向けた取り組みについて 【議 事】 異動に伴う理事の承認について 令和7年度京丹波町社協第2次補正予算（案）の承認について 令和8年度京丹波町社協事業計画（案）の承認について 令和8年度京丹波町社協資金収支予算（案）の承認について 定款変更（案）の承認について

(4) 三役・管理職会議・・・12回

R7.4.18	作業所について、処遇改善、嘱託職員募集、各課からの報告、他
R7.5.19	作業所について、事業報告、財政状況と決算、賞与について、新理事・新監事・新評議員について、夏季休暇、各課からの報告、他
R7.6.23	あいさつ回り、財政改善、各課からの報告、他
R7.7.28	内部登用試験、財政改善、各課からの報告、他
R7.8.21	内部登用試験、財政改善、規程の変更、京都府社会福祉大会、各課からの報告、他
R7.9.25	財政改善、作業所について、町長との懇談、各課からの報告、他
R7.10.14	財政改善、感染症対策、年休について、各課からの報告、他
R7.11.20	財政改善、作業所について、職員全体研修、きょうと地域福祉活動実践交流会、年休について、各課からの報告、他
R7.12.17	財政改善、作業所について、職員全体研修、各課からの報告、他
R8.1.27	作業所について、財政改善、各課からの報告、他
R8.2.25	作業所について、財政改善、法人監査の報告、嘱託職員募集、各課からの報告、他
R8.3.17	作業所について、次年度に向けて、財政改善、各課からの報告、他

(5) 各種運営委員会

委員会名	丹波	瑞穂	和知	合計
心配ごと相談所運営委員会		1		1
福祉資金貸付委員会	0	0	0	0
ボランティアバンク運営委員会		2		2
理事・監事推薦委員会		1		1
評議員選任・解任委員会		2		2

(6) 管理職（課長）会議・・・12回

R7.4.11	作業所について、デイサービス廃止について、処遇改善、子の看護休暇、各課からの報告、他
R7.5.12	作業所について、組織のあり方について、処遇改善、事業報告、各課からの報告、他
R7.6.4	賞与について、ヒアリング、処遇改善、各課からの報告、他
R7.7.3	内部登用試験、処遇改善、各課からの報告、他
R7.8.7	財政改善、育児・介護休業等に関する規則の改定、各課からの報告、他
R7.9.11	財政改善、感染症対策、上半期事業報告、作業所について、各課からの報告、他
R7.10.7	財政改善、感染症対策、年休について、各課からの報告、他
R7.11.6	財政改善、作業所について、配食について、職員体制、きょうと地域福祉活動実践交流会、係長会議、各課からの報告、他
R7.12.8	財政改善、作業所について、職員体制、各課からの報告、他
R8.1.8	作業所について、来年度に向けて、財政改善、各課からの報告、他
R8.2.6	作業所について、来年度に向けて、財政改善、法人監査報告、各課からの報告、他
R8.3.3	作業所について、来年度に向けて、財政改善、各課からの報告、他

(7) 職員内部研修、会議・・・5回

R7.11.13	在宅福祉課感染症研修会
R7.12.10	職員全体研修
R7.12.21	災害ボランティアセンター職員研修
R8.2.20	共同作業所虐待防止研修
R8.3.1～ 3.31	在宅福祉課高齢者虐待・障害者虐待防止研修 ※WEB 動画視聴による研修



▲災害ボランティアセンター職員研修 (R7.12.21)

## 【在宅福祉推進事業】

### 1 福祉サービス利用援助事業

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な人に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う。

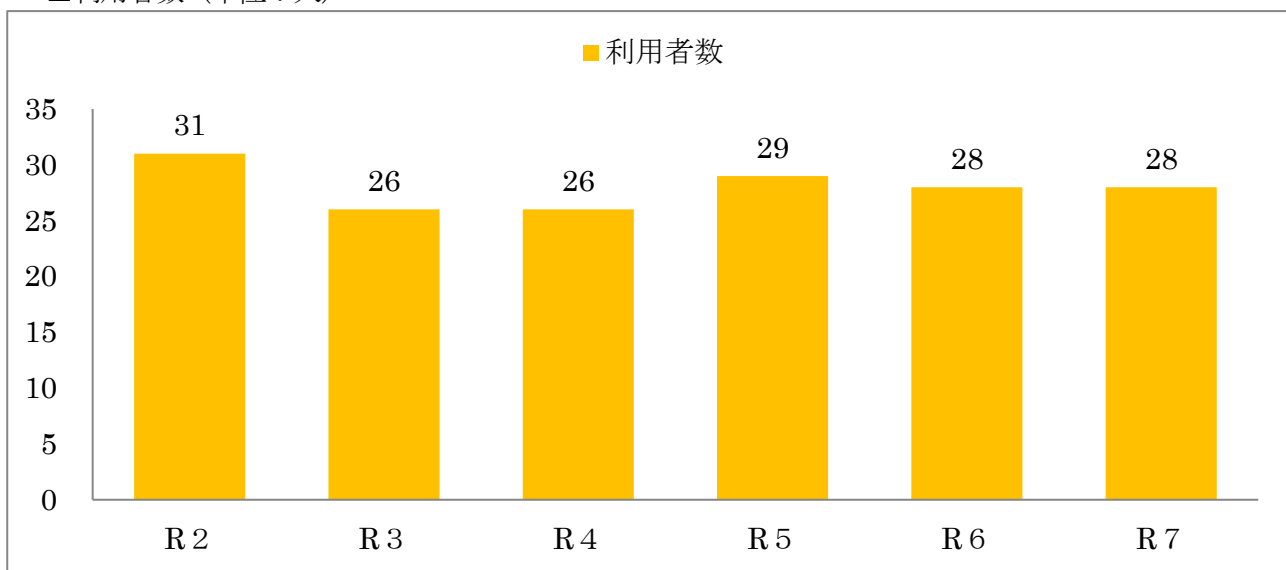
■契約・支援等の件数・・・令和8年3月31日現在

	R 6年度支援件数					解約 件数	新規 件数	保留 件数	R 7年度支援件数					生活保護 受給者数	相談継続 件数
	認知 症	知的 障害	精神 障害	その 他	計				認知 症	知的 障害	精神 障害	その 他	計		
丹波地域	5	1	5	4	15	1	3	6	5	2	5	5	17	8	2
瑞穂地域	2	1	1	5	9	2	0	0	0	1	1	5	7	4	0
和知地域	1	1	1	1	4	2	2	0	1	0	1	2	4	1	0
合計	8	3	7	10	28	5	5	6	6	3	7	12	28	13	2

① 令和7年度 新規契約者数 → 5名

② 令和7年度 解約者数 → 5名

■利用者数（単位：人）



■支援内容

支援内容	丹波	瑞穂	和知	合計	備考
○福祉サービス利用援助	17	7	4	28	福祉サービス利用契約手続き支援
○日常的な金銭管理	17	7	4	28	衣食住等の日常経費の管理
○通帳・印鑑の預かり	16	6	3	25	通帳・印鑑の管理
○書類等の預かりサービス	2	1	0	3	年金証書、権利証書等の預かり

■専門員・支援員研修の開催

専門員・・・4回

研 修 名	開催日	内 容
第1回専門員会議	R7. 5. 27	【説明】 権利擁護支援をめぐる取り組みについて
対人援助の基本姿勢・相談面接技術セミナー	R7. 7. 28	【講義・演習】 「事例研究（検討）の前に必要なこと」「事例検討とは」講師：同志社大学社会福祉学科教授 野村裕美氏
南丹乙訓ブロック事例検討会	R7. 9. 19	【事例検討】 向日市社協／南丹市社協
第2回専門員会議	R7. 12. 11	【説明】「新たな事業」について

生活支援員・・・2回

研 修 名	開催日	内 容
生活支援員現任研修	R7. 11. 28	講 義 『精神疾患の症状と理解～本人の思いに沿った支援の視点～』 京都ノートルダム女子大学客員教授 佐藤 純氏
南丹ブロック現任生活支援員研修交流会	R7. 12. 9	講 演 『福祉サービス利用援助事業における意思決定支援とは』『個人情報の取り扱いについて』 講師：大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科 中野加奈子氏 グループワーク

【成果・課題】

- ・新規ケース相談経路の内訳は、ケアマネジャー4件、京丹波町福祉支援課1件であった。
- ・解約理由の内訳は特別養護老人ホーム入所2件、町外グループホーム・生活支援施設入所に伴う転出2件、自己管理1件であった。
- ・令和7年度中に契約に至らなかったケースの内3件は同一世帯（生活保護世帯）であり、債務整理を優先されたため、次年度に契約及び利用開始となった。他3件は相談対応を継続している。
- ・新規申し込み時点で税や水道料金の滞納がある方が多く、関係機関と連携し分納手続き支援を行っている。

2 法人後見事業（京都府社協委託事業）

京都府社会福祉協議会が受任する成年後見業務に関して委託契約を締結し、京丹波町で暮らす被後見人等の財産管理（日常的な金銭管理）や身上保護などの支援業務の一部を担う。

■支援業務の内容

- ・受任ケース・・・1件（知的障害・身体障害）
- ・支援回数・・・1回／月
- ・支援内容・・・日常的な金銭管理と見守り

■後見専門員・業務管理者の研修の開催

研 修 名	開催日	内 容
法人後見実務担当者研修	R8. 3. 2	【講義】『法人後見活動の実際』 【事例検討】 『後見支援、こんなときどうする？』 講師：一般社団法人げんてん社会福祉士共同事務所 代表理事 大釜 訓氏

**【成果・課題】**

- ・契約開始時より毎月数回の訪問と毎日の本人からの電話による状況報告（身の回りの出来事）を通して、日常的な金銭管理と身上保護（見守り支援）を行っている。重要な書類や財産管理に関する他の、本人の想いや生活状況等について京都府社協と随時情報共有し、本人が希望する暮らしの実現に向けて支援を行っている。

**3 住民寄り添い型助け合い活動かがやき**

世帯状況の変化に伴い生活上の困りごとを誰にも相談できず、地域の中で孤立する高齢者や障害者が増えている。また、介護保険法の改正に伴い、介護予防・生活支援の充実等が求められている中、住民の主体的な参加と協力によりお互いさまの気持ちで助け合う活動の推進を行う。

- 利用対象者 町内在住で何らかの困りごとを抱えている方
- 利用料金 300円／1時間（150円／30分）  
※総合事業（訪問型サービスA：注1）としての利用料金は利用者の状況によって異なる。
- 活動費 500円／1時間（350円／30分）  
※活動いただいた登録活動者に支払う費用。利用料金（300円）に赤い羽根共同募金の配分金（200円）をプラスする。  
※総合事業（訪問型サービスA：注1）としての活動費は上記と異なる。

（注1）訪問型サービスAとは

緩和した基準によるサービス提供で、掃除、調理、買物などの生活援助を、研修を受けた住民が有償ボランティア活動として行う。  
身体的な介助は行わないため、専門職のサービス提供を必要としない。

**（1）実績**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
かがやき (件数)	4	8	4	7	7	12	7	4	19	3	6	6	87
総合事業 (件数) ※訪問型サービスA	6	7	8	7	8	10	14	15	12	15	14	15	131
新規利用者数 (人)	0	4	1	0	2	1	1	1	3	1	2	1	17

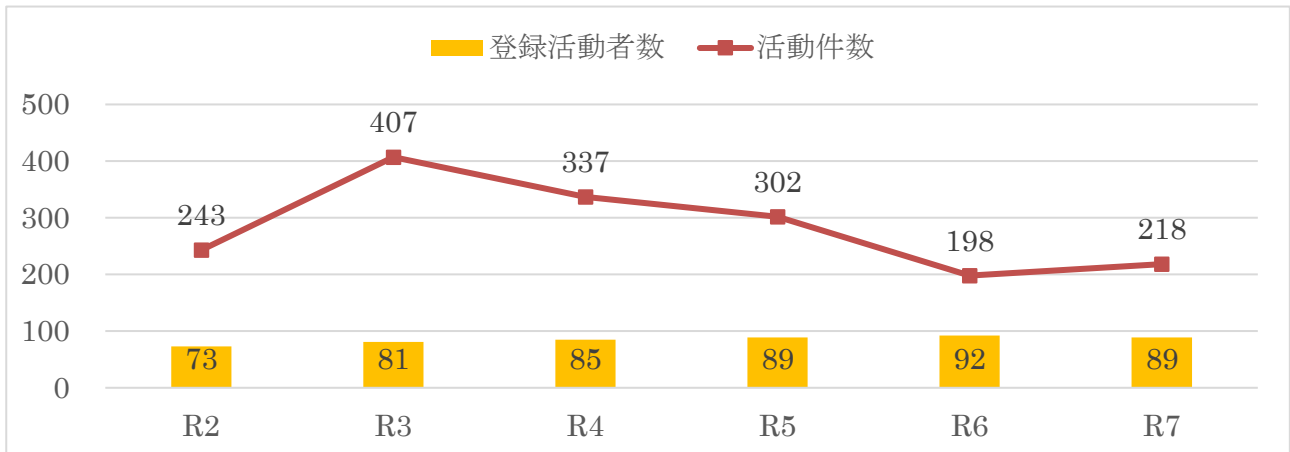
**（2）依頼内容**

依頼内容	件数	依頼内容	件数
ごみ分別・ゴミ捨て	60	草引き	3
掃除	9	模様替え	2
ガラス戸・窓拭き	11	衣類整理	1
マルチはがし	1	掃除（総合事業）	131

**（3）登録活動者数**

（令和8年3月31日現在）

89名（男性21名、女性68名）



**【成果・課題】**

- ・利用者に寄り添い、会話もお互いに楽しみながら活動を進めている。
- ・利用者が難しい部分をお手伝いすることで、本人のできること、やろうとする気持ちを後押しできる活動になっている。
- ・ゴミ出しの依頼が少しずつ増えてきているが、同じ区の方に活動者になっていただき、対応できている。今後増えてきた場合のことを考えると、町や区なども一緒に考えていく必要性を感じる。



## 【高齢者福祉事業】

### 1 介護保険事業

※利用状況推移（要支援1、2、総合事業、要介護1～5の合計）

- ・ケアマネ（延べ利用者数、単位：人）
- ・ヘルパー（延べ提供回数、単位：回）
- ・デイサービス（延べ提供回数、単位：回）



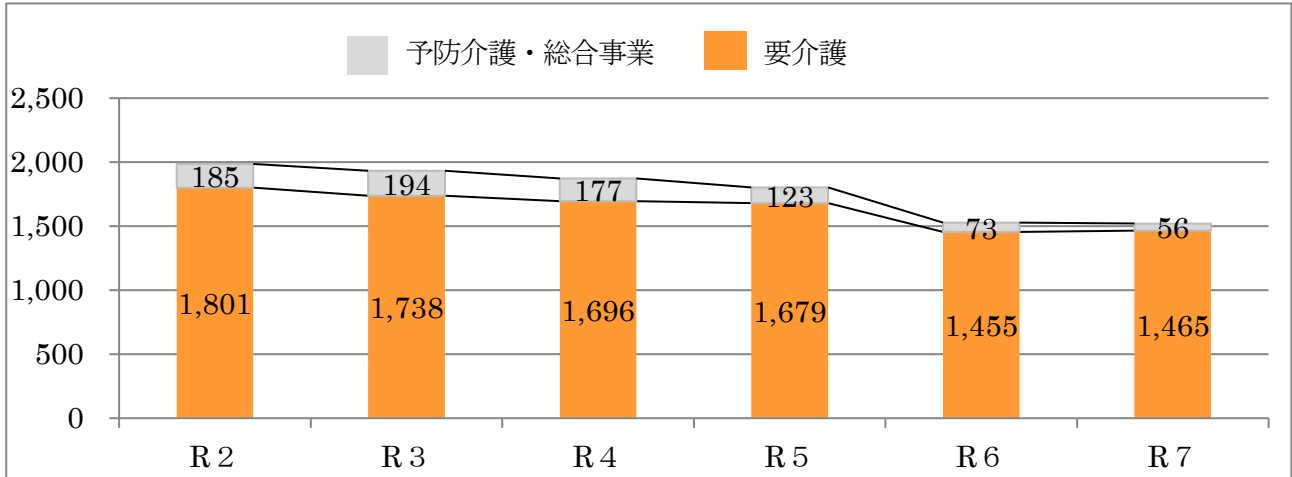
(1) 居宅介護支援事業・・・ケアマネジャーによる介護サービス利用の支援

○高齢者生活支援事業・総合事業・・・京丹波町委託事業

■対象者：概ね65歳以上の高齢者で、日常生活上の援助が必要な要支援者

■内 容：ケアマネジメント

※利用状況の推移（延べ利用者数、単位：人）



■予防介護支援事業・総合事業の実績（総合事業・要支援1・2の利用状況実績）

延べ利用者数 (人)	要支援1	要支援2	総合事業	合 計
<b>7年度</b>	<b>12</b>	<b>32</b>	<b>12</b>	<b>56</b>
6年度	19	12	42	73
5年度	12	87	24	123
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>63.1</b>	<b>266.7</b>	<b>28.6</b>	<b>76.7</b>
5年度比較 (%)	100.0	36.9	50.0	45.5

■居宅介護支援事業の実績（介護1～5までの利用状況実績）

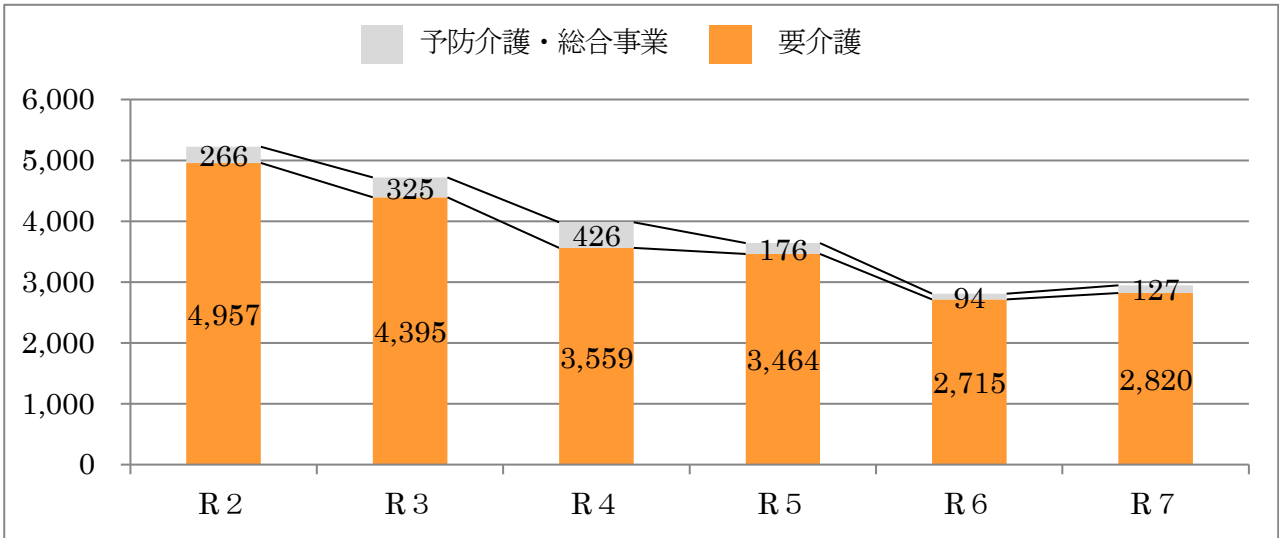
延べ利用者数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
<b>7年度</b>	<b>408</b>	<b>654</b>	<b>202</b>	<b>166</b>	<b>35</b>	<b>1,465</b>
6年度	326	674	307	127	21	1,455
5年度	373	758	308	214	26	1,679
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>125.2</b>	<b>97.0</b>	<b>65.8</b>	<b>130.7</b>	<b>166.6</b>	<b>100.7</b>
5年度比較 (%)	109.4	86.3	65.6	77.6	134.6	87.3

【成果・課題】

- ・前年度並みに利用者の方々の居宅支援が実施できた。
- ・1名主任介護支援専門員研修受講が終了し、知識技能の習得ができたため職員体制が充実した。
- ・和知地区事業所の介護支援専門員体制が充実したため新規受入の依頼が収まったように思う。事業効率を考えた他の地区の新規利用者受け入れ調整がしやすくなった。

(2) 訪問介護事業・・・ホームヘルパーによる在宅支援活動

※利用状況の推移 (述べ提供回数、単位：回)



■予防訪問介護事業の実績 (総合事業・要支援1・2の利用状況実績)

延べ利用者数 (人)	要支援1	要支援2	総合事業	合計
<b>7年度</b>	<b>14</b>	<b>20</b>	<b>0</b>	<b>34</b>
6年度	12	13	0	25
5年度	12	30	0	42
前年度比較 (%)	116.6	153.8	—	136.0
5年度比較 (%)	116.6	66.6	—	81.0
延べ提供回数 (回)	要支援1	要支援2	総合事業	合計
<b>7年度</b>	<b>49</b>	<b>78</b>	<b>0</b>	<b>127</b>
6年度	45	49	0	94
5年度	49	127	0	176
前年度比較 (%)	108.9	159.2	—	135.1
5年度比較 (%)	100.0	61.4	—	72.2

■訪問介護事業の実績 (介護1～5の利用状況実績)

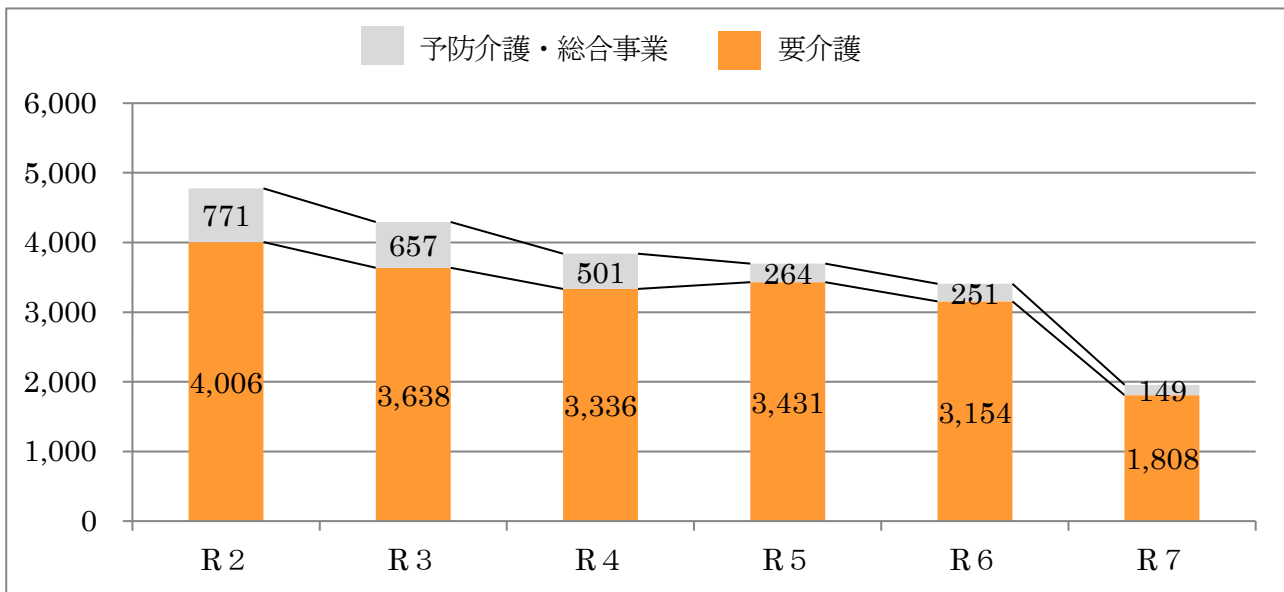
延べ利用者数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
<b>7年度</b>	<b>171</b>	<b>108</b>	<b>48</b>	<b>23</b>	<b>0</b>	<b>350</b>
6年度	120	132	77	28	0	357
5年度	138	186	68	33	6	431
前年度比較 (%)	142.5	81.8	62.3	82.1	—	98.0
5年度比較 (%)	123.9	58.1	70.6	69.7	—	81.2
延べ提供回数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
<b>7年度</b>	<b>1,123</b>	<b>1,028</b>	<b>357</b>	<b>312</b>	<b>0</b>	<b>2,820</b>
6年度	792	828	782	313	0	2,715
5年度	1,114	1,439	411	488	12	3,464
前年度比較 (%)	141.8	124.2	45.7	99.7	—	103.9
5年度比較 (%)	100.8	71.4	86.9	63.9	—	81.4

【成果・課題】

- ・手指消毒、うがい等の感染対策を継続し、提供側の体調も考慮しながらサービス提供が行えた。

- ・ヘルパーの高齢化や人員も少ない体制のなか、できる限り新規利用者を受入れ在宅生活を支える社会資源として運営ができた。
- ・介護予防については新規受け入れをしたため、人数・回数共に増えた。
- ・要介護1～5の利用者は、入院や入所された方があり延べ利用者数は減ったが新規の受け入れもあり延べ提供回数は増加した。

(3) 通所介護事業・・・デイサービスセンターで、入浴・余暇活動等を提供  
 ※利用状況の推移（述べ提供回数、単位：回）



■予防通所介護事業の実績（総合事業の利用状況実績）

延べ利用者数		述べ提供回数	
7年度利用状況	18	7年度提供回数	149
6年度利用状況	33	6年度提供回数	251
5年度利用状況	36	5年度提供回数	264
前年度比較 (%)	54.5	前年度比較 (%)	59.4
5年度比較 (%)	50.0	5年度比較 (%)	56.4

■通所介護事業の実績（介護1～5の利用状況実績）

延べ利用者数 (人)	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
7年度	38	116	20	14	13	201
6年度	56	193	52	26	24	351
5年度	89	165	43	38	24	359
前年度比較 (%)	67.9	60.1	38.5	53.8	54.2	57.3
5年度比較 (%)	42.7	70.3	46.5	36.8	54.2	56.0
延べ提供回数 (回)	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
7年度	149	1,087	207	36	75	1,808
6年度	565	1,673	449	145	322	3,154
5年度	796	1,483	406	316	430	3,431
前年度比較 (%)	26.4	65.0	46.1	24.8	23.3	57.3
5年度比較 (%)	18.7	73.3	51.0	11.4	17.4	52.7

**【成果・課題】**

- ・12月27日をもって閉所。27年間多くの方々にご利用いただいた。
- ・ご利用いただいていた全ての利用者は令和8年1月以降、町内の事業所へ引き継ぐことができた。



▲デイサービスほほえみ大運動会



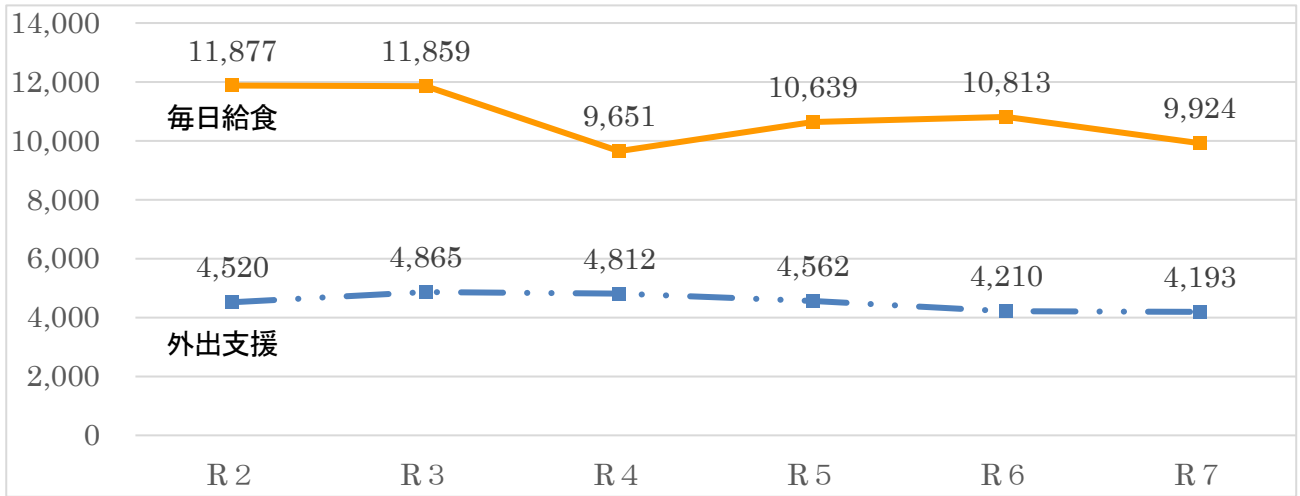
▲ボランティアサークル「コーラスカナリア」来所

## 2 高齢者生活支援事業・・・京丹波町委託事業

※利用状況の推移

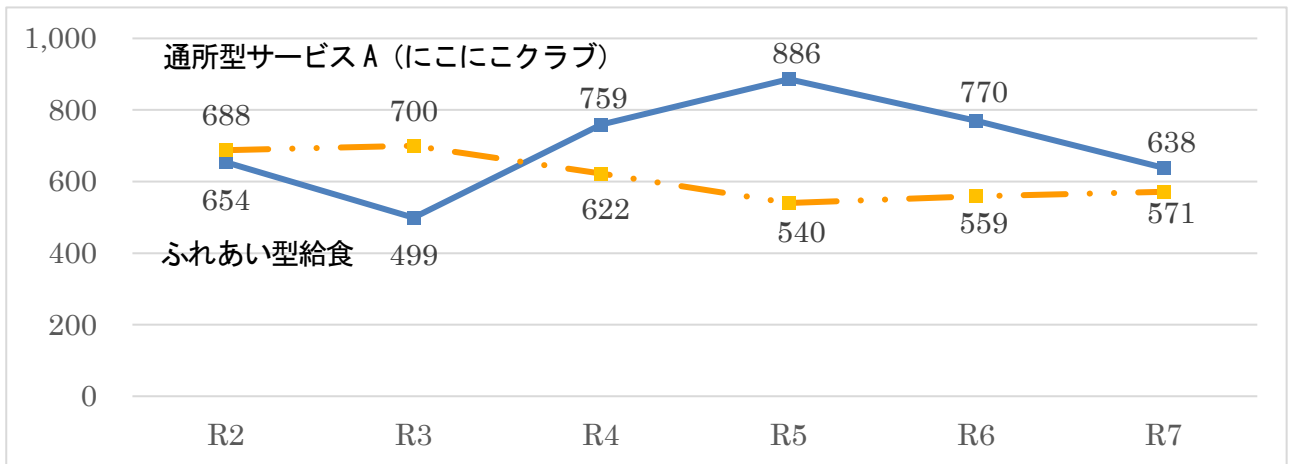
・毎日給食（延べ配食数合計、単位：食）

・外出支援（延べ提供回数合計、単位：回）



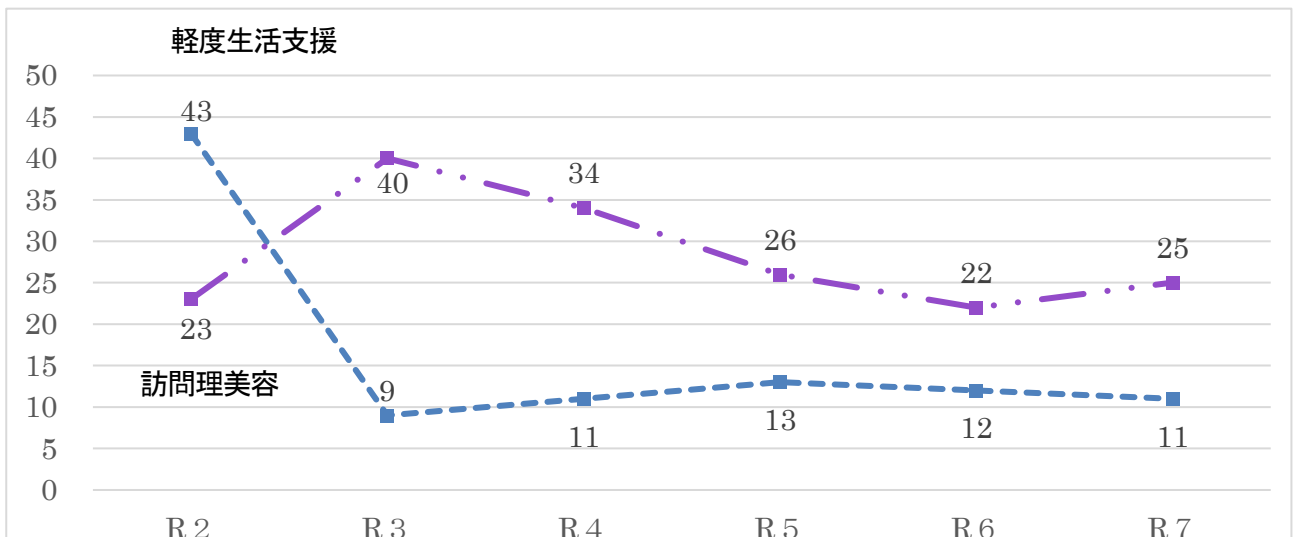
・にこにこクラブ（延べ提供回数合計、単位：回）

・ふれあい型給食（延べ配食数合計、単位：食）



・訪問理美容（延べ提供回数合計、単位：回）

・軽度生活支援（延べ提供回数合計、単位：回）



(1) 軽度生活支援事業

■対象者：概ね65歳以上の高齢者で、一人ぐらし高齢者・高齢者世帯等、日常生活上の援助が必要な方

■内容：掃除、洗濯、調理、他軽易な日常生活上の援助

■提供者：ホームヘルパー

延べ利用者数 (人)	丹波	瑞穂	和知	合計
<b>7年度</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>0</b>	<b>8</b>
6年度	0	11	0	11
5年度	0	13	0	13
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>—</b>	<b>72.7</b>	<b>—</b>	<b>72.7</b>
5年度比較 (%)	—	61.5	—	61.5
延べ提供回数 (回)	丹波	瑞穂	和知	合計
<b>7年度</b>	<b>0</b>	<b>9</b>	<b>0</b>	<b>9</b>
6年度	0	12	0	12
5年度	0	13	0	13
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>—</b>	<b>75.0</b>	<b>—</b>	<b>75.0</b>
5年度比較 (%)	—	69.2	—	69.2

【成果・課題】

- ・現在は資源ごみ回収だけの活動となり、2カ月に1回程度の活動を継続している。

(2) 外出支援事業

■対象者：概ね65歳以上の高齢者、または概ね60歳以上の高齢者であって下肢が不自由な方で、一般の交通機関の利用が困難な方

■内容：自立生活を維持し、要介護状態への進行を防止するために必要と認められる通院や買い物等の送迎

	延べ提供回数 (回)
<b>7年度</b>	<b>4,193</b>
6年度	4,210
5年度	4,562
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>99.6</b>
5年度比較 (%)	91.9

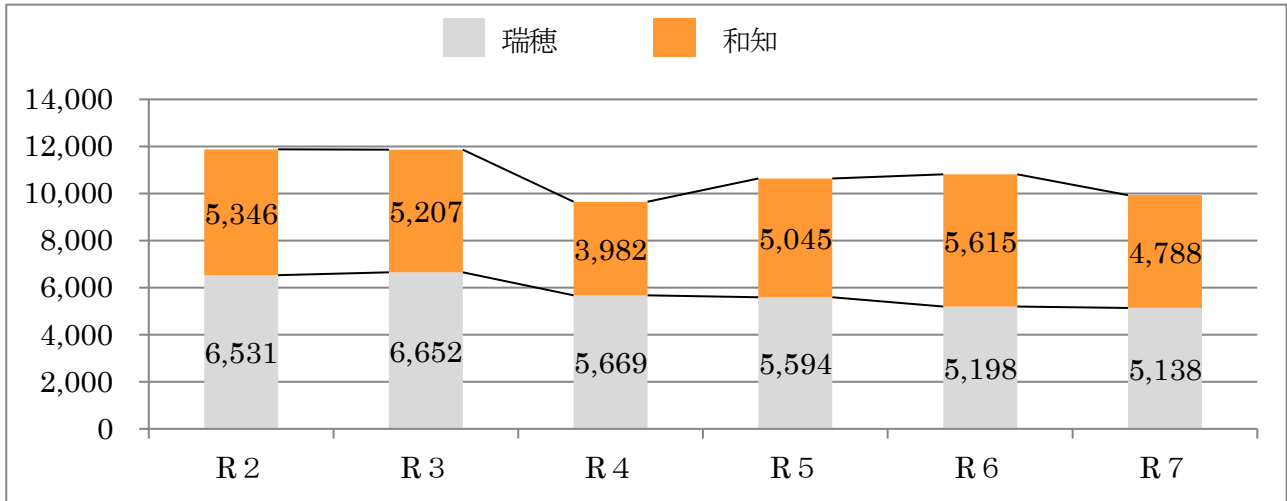
【成果・課題】

- ・令和7年度も利用者の協力により相乗りで送迎を行うことができ送迎効率が上がった。
- ・京都中部医療センターや亀岡方面への送迎が増えており、利用者を持たせる時間が長くなった。
- ・場合により本会の各支所（丹波、瑞穂、和知）と連携することで効率よく送迎することができた。
- ・特定の曜日に予約が集中することもあり、利用者へ時間の変更をお願いすることがあった
- ・認知症傾向のある方には、予約日当日に架電しお迎えに行く旨を連絡するようにした。
- ・京都中部や明治国際、綾部市立病院、福知山など町外の送迎が増加傾向にある。
- ・瑞穂地区でのデマンド型タクシーが始まったことで利用状況がやや減少傾向にある。

(3) - 1 食の自立支援事業（毎日給食）

- 対象者：調理が困難な一人暮らし高齢者
- 地区：瑞穂地区、和知地区のみ ※丹波地区は丹波高原荘が実施
- 内容：栄養バランスのとれた夕食弁当の宅配
- 利用料：1食 600円（ご飯、おかず）、550円（おかずのみ）

※地区ごとの利用者数の推移（単位：提供配食数）



延べ利用者数 (人)	瑞 穂	和 知	合 計
<b>7年度</b>	<b>284</b>	<b>348</b>	<b>632</b>
6年度	283	390	673
5年度	314	325	639
前年度比較 (%)	100.4	89.2	93.9
5年度比較 (%)	90.4	107.1	98.9
延べ提供食数 (食)	瑞 穂	和 知	合 計
<b>7年度</b>	<b>5,136</b>	<b>4,788</b>	<b>9,924</b>
6年度	5,198	5,615	10,813
5年度	5,594	5,045	10,639
前年度比較 (%)	98.8	85.3	91.8
5年度比較 (%)	91.8	94.9	93.3

【成果・課題】

・急な入院や入所などで全体的には去年と比べて、利用者数や配食数が減少している。

(3) - 2 食の自立支援事業（ふれあい型給食サービス）

- 対象者：一人暮らし高齢者・高齢者世帯等（和知地区）
- 内容：調理・配食ボランティアによる月2回実施の「かけはし弁当」
- 利用料：1食 400円

	配食数 (食)	調理ボラ数 (人)	配食ボラ数 (人)
<b>7年度</b>	<b>638</b>	<b>110</b>	<b>228</b>
6年度	770	114	220
5年度	886	106	219
前年度比較 (%)	82.9	96.5	103.6
5年度比較 (%)	72.0	103.8	104.1

**【成果・課題】**

- ・人口減少、施設入所される方が増え、利用者が年々減少傾向にある。

**(4) 訪問理美容事業**

- 対象者：理美容院に出向くことが困難な高齢者等
- 内 容：社協に登録された理美容師が訪問し理美容を行う。
- 利用料：1回 1,000円

延べ利用者数 (人)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
<b>7年度</b>	<b>9</b>	<b>12</b>	<b>4</b>	<b>25</b>
6年度	9	8	5	22
5年度	9	11	6	26
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>100.0</b>	<b>150.0</b>	<b>80.0</b>	<b>113.6</b>
5年度比較 (%)	100.0	109.1	66.7	96.2

**【成果・課題】**

- ・今年は新規利用者の方が2名あった。
- ・2、3カ月に1回の頻度で利用されている方が多い。

**(5) 通所型サービスA事業（にこにこクラブ）**

- 対象者：総合事業対象者の高齢者。
- 内 容：4班体制で、月2回、健康観察と体操を取り入れ、介護予防や健康維持を目的に実施
- 会 場：主会場は、和知高齢者コミュニティセンター

月	開催日	参加者数	月	開催日	参加者数
4月	15日、17日	27	10月	7日、9日、21日、23日	58
5月	13日、15日	29	11月	4日、6日、18日、20日	58
6月	3日、5日、17日、19日	56	12月	2日、4日、16日、18日	61
7月	8日、10日、22日、24日	52	1月	20日、22日	17
8月	19日、21日	28	2月	3日、5日、17日、19日	65
9月	9日、11日、25日	56	3月	3日、5日、17日	64
<b>合 計</b>					<b>571</b>
前年度実績					559
<b>前年度比 (%)</b>					<b>102.1</b>

**【成果・課題】**

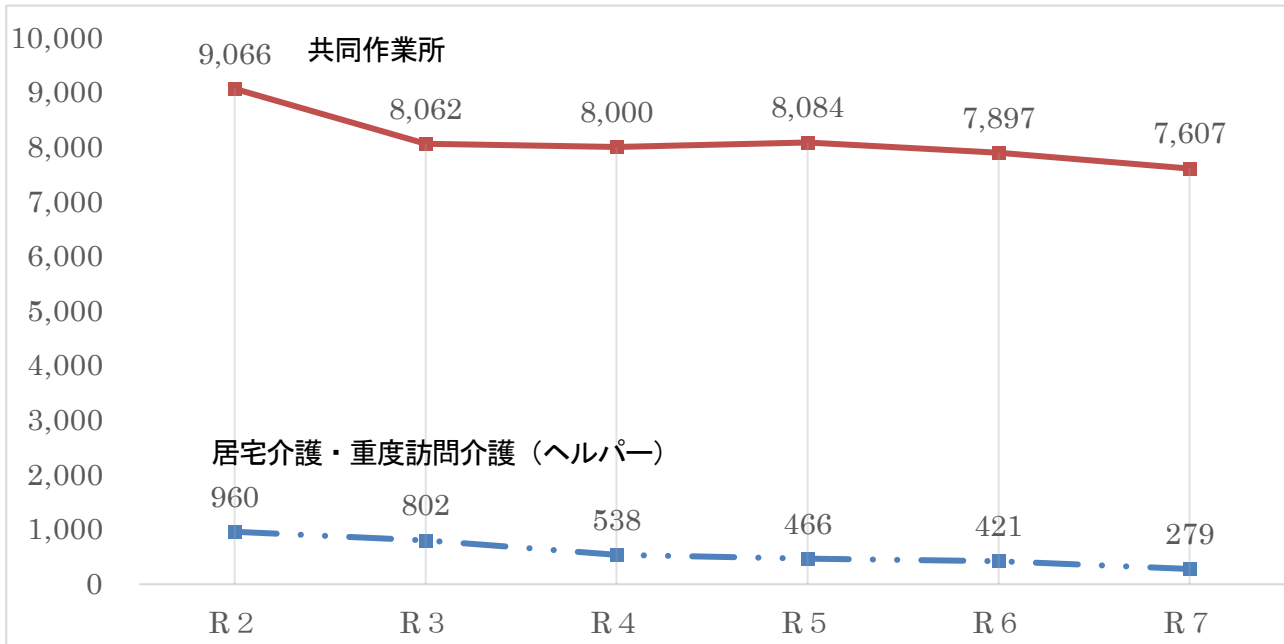
- ・長く利用され元気に来られている方も多い。介護予防の効果を感じる。
- ・一方、介護保険への切り替えのタイミングが難しい。



## 【障害者福祉事業】

### 1 障害者総合支援事業

※利用状況の推移（延べ提供回数合計、単位：回）



#### (1) 居宅介護・重度訪問介護事業

##### ■ホームヘルパーによる在宅支援活動

延べ利用者数 (人)	障害支援 区分 1	障害支援 区分 2	障害支援 区分 3	障害支援 区分 4	障害支援 区分 5	障害支援 区分 6	合 計
<b>7年度</b>	<b>0</b>	<b>28</b>	<b>37</b>	<b>12</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>77</b>
6年度	0	33	34	12	0	0	79
5年度	0	43	25	20	0	0	88
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>—</b>	<b>84.8</b>	<b>108.8</b>	<b>100.0</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>97.4</b>
5年度比較 (%)	—	65.1	148.0	60.0	—	—	87.5
延べ提供回数 (回)	障害支援 区分 1	障害支援 区分 2	障害支援 区分 3	障害支援 区分 4	障害支援 区分 5	障害支援 区分 6	合 計
<b>7年度</b>	<b>0</b>	<b>66</b>	<b>143</b>	<b>70</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>279</b>
6年度	0	212	139	70	0	0	421
5年度	0	333	60	73	0	0	466
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>—</b>	<b>31.1</b>	<b>102.8</b>	<b>100.0</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>66.2</b>
5年度比較 (%)	—	19.8	238.3	95.8	—	—	59.8

#### 【成果・課題】

- ・引き続き感染予防のため、手指・うがい等の施行を行っています。
- ・新規受け入れによりご利用者の心身の状態に合わせ支援することが出来た。

(2) 障害者共同作業所運営事業

障がいのある方の自立を目指し、生活能力向上の支援や就労訓練を行う。

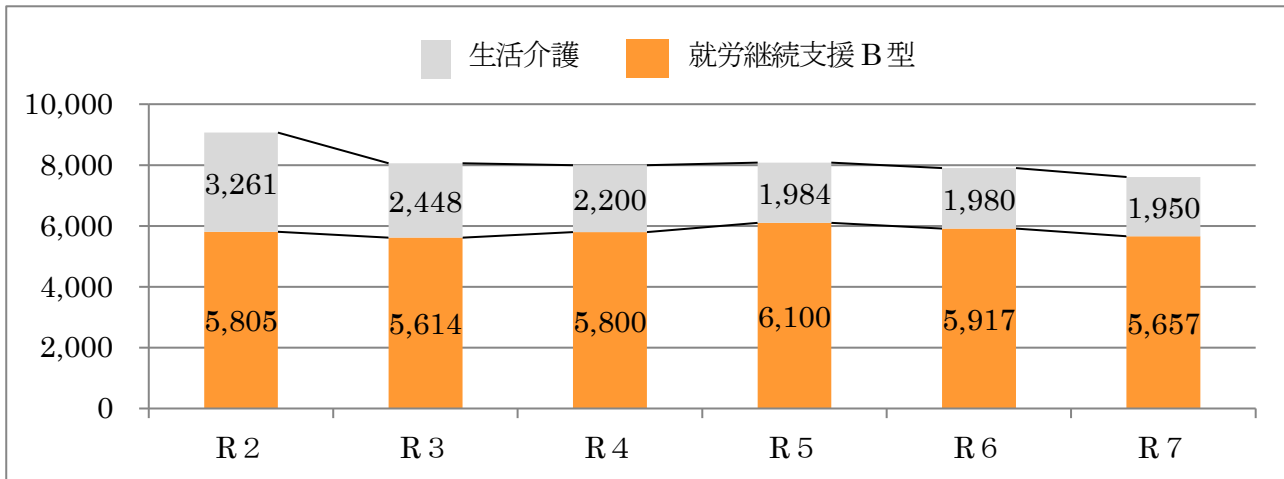
【生活介護】

創作的活動や生産的活動の機会を提供し身体的機能や生活能力向上のための援助を行う。

【就労継続支援B型】

一般就労に向けて必要な知識や能力の向上を目的に、生産活動やその他の活動を通して本人に合った訓練や支援を行う。

※利用実績の推移 (単位：提供回数)



①利用実績

延べ利用者数 (人)	生活介護	就労継続支援B型	合計
<b>7年度</b>	<b>1,950</b>	<b>5,657</b>	<b>7,607</b>
6年度	1,980	5,917	7,897
5年度	1,984	6,100	8,084
前年度同期比 (%)	<b>98.5</b>	<b>95.6</b>	<b>96.3</b>
5年度同期比 (%)	98.3	92.7	94.1

■利用者数 (令和8年3月末現在)

就労継続支援B型 … 37名 (定員42名)

生活介護 … 12名 (定員18名)

**合計 49名 (定員60名)**

■入退所者数

入所者… 4名

退所者… 5名 退所 (A型事業所へ移行4名・転居1名)

②販売会 (自主製品の販売を通して啓発や工賃アップにつなげる)

販売会名	開催日	会場
京都府障害者スポーツレクリエーション	5月25日(日)	丹波自然運動公園
下山グリーンハイツ区夏まつり	7月19日(土)	グリーンハイツ区内
わちふるさと祭り	8月23日(土)	和知駅前
上和知中部村まつり	11月2日(日)	わち夢広場
子ども応援広場	3月21日(土)	旧質美小学校体育館

■作業所連絡会 (月1回開催、入所判定、支所からの報告)

4月から3月まで、毎月1回開催

③研修会

研修名	開催日	内容	会場
職員全体会議	4/1(火)	R7年度事業計画、職務分担等	作業所本所
虐待防止研修	2/20(金)	作業所職員対象 厚労省動画視聴、セルフチェックシート	作業所本所
感染症予防研修 BCP研修	3/19(木)	作業所職員対象 感染症に関して、BCPマニュアルの確認と周知を実施	作業所本所

④避難訓練

- ・各支所で地震を想定した避難訓練と、火災を想定した避難訓練を1回ずつ実施した
- ・丹波本所では、意識障害による転倒時の搬出方法について、園部消防署丹波出張所職員に毛布を使った搬送方法についての研修を1回実施した。

⑤実習生受け入れ（瑞穂支所で受入れた）

令和7年12月16日(火) 丹波支援学校高等部1年生 2名  
 令和8年3月16日(月)・17日(火) 丹波支援学校高等部2年生 1名

⑥地域交流（ボランティア）

団体名	開催日	内容
十三の会	4月～11月 毎週1回	和知支所アルミ缶回収 ネギの調整

※個人ボランティア 丹波本所 毎週 水・木曜日に1名

⑦職場実習

就労を目指している方の職場実習 0名

**【成果・課題】**

- ・個別支援計画未作成については、利用をはじめ多くの方にご迷惑とご心配をかけることとなった。京都府、京丹波町の指導の下、利用者全員の個別支援計画を作成し、再発防止に向けて取り組んでいる。
- ・今年度、退所者5名のうち4名がA型事業所へステップアップができたことは、就労支援の役割を果たせたと感じている。
- ・町内の事業所から新たに作業を受託でき、作業を通して障害理解が深まっていることを実感する。そのなかで、本作業所が地域に開かれた事業所として就労訓練を通していきがづくり、ステップアップの役割を果たせるよう法令順守を徹底し、信頼回復に向けて取り組んでいく。

## 2 特定障害者指定相談支援事業（相談支援センターにじ）

- 目的：障がいのある方が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、保健、医療、福祉、就労、教育等の関係機関と緊密な連携を図りつつ、一人ひとりの意向、適性、特性等に応じ、適切かつ効果的な相談支援を行う。

### ■実績

	新規契約	計画書作成	モニタリング作成
<b>7年度</b>	<b>6</b>	<b>33</b>	<b>10</b>
6年度	14	25	20
5年度	5	40	44
前年度比較 (%)	42.9	132.0	50.0
5年度比較 (%)	120.0	82.5	25.0

### 【成果・課題】

- ・地域資源が少ないなかで、町外事業所とのサービス調整が増加傾向にある。
- ・関係者間での情報共有（連携）や利用者（ご家族）との良好な関係性の構築のもと、適切な福祉サービス利用調整を提供していくことが、より一層求められている。

## 3 ひきこもり等居場所づくり支援事業（にじの家）

- 目的：ひきこもり状態の方やその家族が気軽に利用できる居場所を開設し、当事者等からの相談に応じて必要な情報提供及び助言を行うとともに、関係機関と連携を図り、地域における自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

### ■内容

#### (1) 居場所「にじの家」の開設・運営

当事者が自宅以外で過ごせる居場所として「にじの家」を開設する。当事者やその家族の社会的孤立を解消し、自宅以外で落ち着いて過ごせる空間としての「居場所」を運営する。また、必要に応じて専門機関と連携するなどの相談窓口機能も担う。

#### (2) 「当事者の会」と「家族の会」を分けることで、それぞれのニーズを汲み取る

ニーズに合わせた柔軟な活動内容提供により、利用しやすい環境にする。創作活動や家族交流会、中間的就労支援等、当事者の希望に応じながら柔軟に対応していく。

#### (3) 自宅訪問によるアプローチ

関係者や地域住民、当事者家族に、居場所「にじの家」の活動内容の周知、浸透の促進を図る。

### ■利用状況

※延べ参加人数

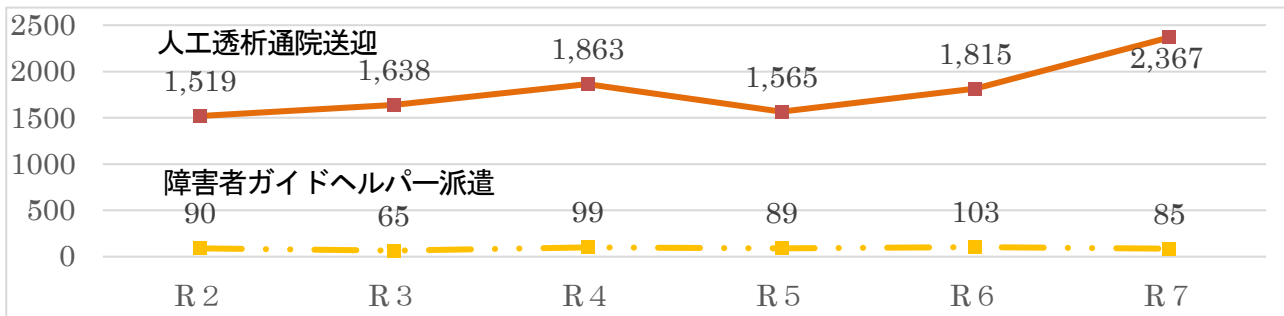
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当事者	3	1	3	3	3	3	3	3	2	3	2	0
家族	2	1	3	2	3	3	0	2	1	2	2	0

### 【成果・課題】

- ・作品展示会（コレカラー展）の開催に向け、講師を招き作品の製作に取り組めた。作業所や教育委員会とも連携しながら、社会との繋がりやキッカケの場として今後も継続して開催していく。
- ・様々な地域団体との交流も積極的に行い、中間的就労支援としても公共施設の清掃業務委託や本会の地域活動の場を引き続き提供できる体制を取っていく。

## 2 障害者等生活支援事業

※利用状況の推移（延べ提供回数、単位：回）



### (1) 重度心身障害児・者通院通所事業

#### ①人工透析通院送迎

- 対象者：人工透析患者
- 内 容：人工透析のための通院送迎
- 提供者：社協外出支援運転手、ホームヘルパー

延べ利用者数 (人)	瑞穂発 (R9)	和知発 (R27)	合 計
<b>7年度</b>	<b>161</b>	<b>64</b>	<b>225</b>
6年度	167	75	242
5年度	172	84	256
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>96.4</b>	<b>85.3</b>	<b>93.0</b>
5年度比較 (%)	93.6	76.2	87.9
延べ提供回数 (回)	瑞穂発 (R9)	和知発 (R27)	合 計
<b>7年度</b>	<b>939</b>	<b>1,428</b>	<b>2,367</b>
6年度	939	876	1,815
5年度	939	626	1,565
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>100.0</b>	<b>163.0</b>	<b>130.4</b>
5年度比較 (%)	100.0	228.1	151.2

#### 【成果・課題】

- ・提供回数は増えているが入院等のため利用されない方があり、乗車人数が減ったため延べ利用者数は減っている。
- ・高齢化に伴い、車の乗り降りでの見守りや透析室まで付き添いが必要な方もあり、年々送迎だけではなく、見守りや介助が増えてきている。
- ・時折、透析後に体調が優れない方がおられ、透析室から車いすで出て来られる方もあり、車の乗り降りや車中の状態に気を付けながら送迎を行っている。
- ・台風や大雪の場合でも安全に透析送迎が行えた。

### (2) 障害者ガイドヘルパー派遣事業

	延べ利用者数 (人)	延べ提供回数 (回)
<b>7年度</b>	<b>85</b>	<b>85</b>
6年度	92	103
5年度	47	89
<b>前年度比較 (%)</b>	<b>92.4</b>	<b>82.5</b>
5年度比較 (%)	180.9	95.5

#### 【成果・課題】

- ・京都府の北部から南部まで広範囲にわたって同行支援が行えた。

## 【児童福祉事業】

### 1 ファミリー・サポート・センター事業

#### ① 各会員登録状況（3月末）

会 員 名	R 7年度末	新規登録者数	退会者数
依頼会員（おねがい会員）	74	8	4
提供会員（あずかり会員）	53	5	2
両方会員	19	0	2

#### ② 講習会、交流会、体験会の開催・・・あずかり会員養成講習会、会員交流会、利用体験会

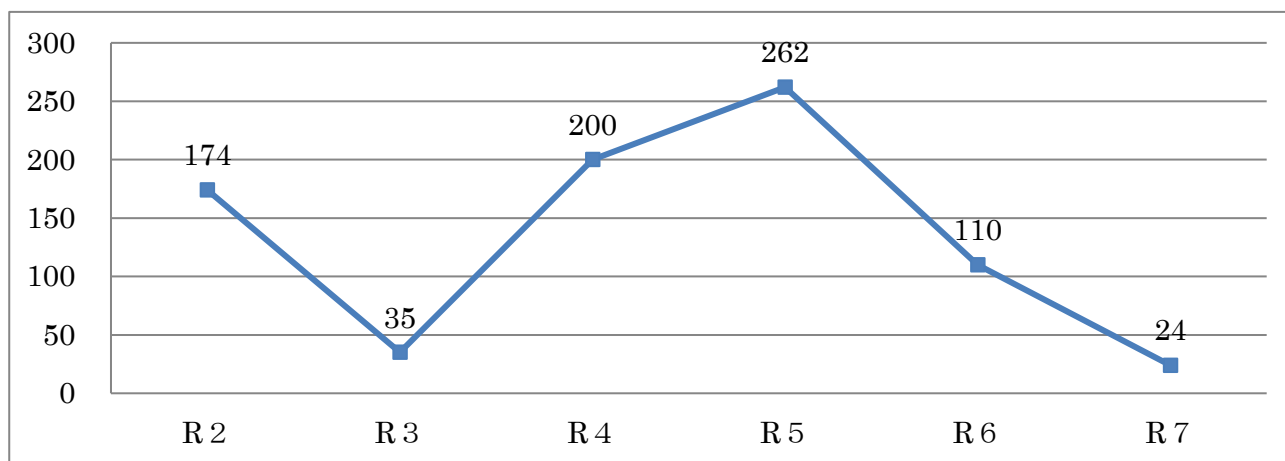
項 目	日時・場所	内 容
利用体験会	6月26日(金) 9:45～11:15 京丹波町子育て支援センター	内容：第一回「ファミサポ体験会」 ファミリー・サポート・センターを初めて利用する人を対象にした利用体験会 利用人数：3名 託児スタッフ：3名
利用体験会	11月13日(木) 10:00～11:30 京丹波町子育て支援センター	内容：第二回「ファミサポ体験会」 ファミリー・サポート・センターを初めて利用する人を対象にした利用体験会 利用人数：1名 託児スタッフ：1名
あずかり会員養成講習会	7月2日(水) 9:00～15:00 7月8日(火) 9:00～14:30 京丹波町健康管理センター	内容： <1日目> 「子どもの安全と病気の世話」 講師/健康推進課 栗原 天音 氏 「あずかり会員として活動するために」 説明/京丹波町社会福祉協議会地域福祉課 谷山 啓子 「受講生交流」 「普通救命講習」 講師/中部広域消防丹波出張所 中井 亮介 氏 <2日目> 「京丹波町の現状と子育て支援について」 講師/子育て支援課 山崎 紗也香 氏 「子どもの権利と社会的養護」 講師/京都府家庭支援総合センター 弦間 亮 氏 (里親体験談) 両方会員 早川 公雄 様 早川 知子 様 「子どもの発達に応じた関わり方」 講師/健康推進課 石原 詩子 氏 「子どもの社会性と遊びについて」 講師/みずほこども園 蒲生 沙奈美 氏 受講者：14名（新規2名、追加受講2名、再受講11名）
フォローアップ講習会	12月3日(木) 10:00～11:30 京丹波町瑞穂保健福祉センター	内容：『健康を育む簡単おかず&おやつ講座』 講師による料理のデモンストレーションと食育講座 講師/宮崎 恵 氏 参加者：7名（提供会員6名、両方会員1名）

会員交流会	6月1日(日) 13:00~15:30 京丹波町健康管理センター	内容:『子育て応援広場』 お下がり品のリサイクル、工作、食育、絵本の読み聞かせなど 参加対象:ファミリー・サポート・センター登録会員、ファミリー・サポート・センターに関心のある一般住民 参加者:74名(大人37名、子ども30名)
会員交流会	9月7日(日) 13:00~15:30 京丹波町中央公民館	内容:『子育て応援広場』 お下がり品のリサイクル、おもしろ科学あそび、絵本の読み聞かせなど 参加対象:ファミリー・サポート・センター登録会員、ファミリー・サポート・センターに関心のある一般住民 参加者:65名(大人27名、子ども38名)
提供・両方会員交流会	10月24(木) 10:00~11:30 京丹波町健康管理センター	内容:『多肉植物の寄せ植え』 多肉植物の寄せ植え体験及び交流会 講師:提供会員 永井 仁美 様 参加者:7名(提供会員7名)

### ③ 活動実績・・・調整状況

事業名	回数	内容
マッチング	8	保護者の就労時の預かり、保護者の外出の際の預かり、習い事への送迎、こども園の送迎、こども園が休みの時の預かり
活動実績	24	学童の開始前・終了後の預かり及び送迎、保護者が外出の際の預かり、保護者の就労時の預かり、習い事への送迎
新規相談受付	10	電話、面談、訪問
連絡・調整	278	会員との活動調整、関係機関との連絡

※活動実績の推移(延べ提供回数、単位:回)



### 【成果・課題】

- ・長年継続して送迎(習い事送迎、長期休み期間の学童送迎)を利用されていた方が小学校卒業で対象年齢が過ぎたため利用がなくなり、活動回数が減少した。また、学童の利用時間が延長となり、夕方の短時間サポートのニーズが減り、利用回数も減少した。
- ・子育て支援センターの行事時や母子健康事業の乳児前期・後期健診時に事業案内を行い、依頼の登録や利用につながった。引き続き母子健康事業や子育て支援センターに積極的に足を運び、会員増加に

つなげていきたい。

- ・こども園の送迎依頼があり、利用回数が多かったため、複数の提供会員とマッチングすることで提供会員に負担がかからないよう対応できた。
- ・6月と9月に開催した会員交流会「子育て応援広場」では、会員に役割を持ってもらうことで主体的に参加する会員が増えている。
- ・あずかり会員養成講習会については、新規2名、昨年1日分の追加受講2名の参加があり、4名の方が受講を修了された。また、緊急救命講習及び事故防止、虐待防止に関する講習については11名の方が再受講をされた。



▲子育て応援広場



▲あずかり会員養成講習会

## 【地域福祉推進事業】

### 1 啓発活動の展開

#### (1) 社協広報紙「ほほえみ」の発行

NO	発行月	内容等
71	令和7年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員配置図</li> <li>・防災落語</li> <li>・共同募金からのお知らせ</li> <li>・赤十字運動</li> <li>・相談事業のお知らせ</li> <li>・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ</li> <li>・作業所NEWS</li> <li>・社協会費</li> <li>・寄付お礼</li> </ul>
72	令和7年6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度事業計画・予算</li> <li>・社協事業紹介</li> <li>・社協会費のお願い</li> <li>・赤い羽根共同募金じぶんの町を良くする活動助成</li> <li>・わんわんパトロール</li> <li>・フードバンク</li> <li>・災害ボランティアセンター</li> <li>・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ</li> <li>・作業所NEWS</li> <li>・寄付お礼</li> <li>・相談事業のお知らせ</li> </ul>
73	令和7年9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新役員・新評議員紹介</li> <li>・賛助会員・特別会員募集</li> <li>・令和6年度事業・決算報告</li> <li>・令和7年度共同募金運動</li> <li>・在宅福祉課よりお知らせ</li> <li>・社会福祉体験学習</li> <li>・ほのボラのページ</li> <li>・災害ボランティアセンター</li> <li>・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ</li> <li>・作業所NEWS</li> <li>・寄付お礼</li> <li>・相談事業のお知らせ</li> </ul>
74	令和8年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新春メッセージ</li> <li>・社協会費お礼</li> <li>・福祉大会受賞者報告</li> <li>・在宅福祉課よりお知らせ</li> <li>・相談事業のお知らせ</li> <li>・歳末たすけあい募金（お買い物バス・年末大掃除）</li> <li>・ほのボラのページ</li> <li>・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ</li> <li>・作業所NEWS</li> <li>・寄付お礼</li> </ul>

#### 【成果・課題】

- ・令和6年度の福祉まつりで募集した「福祉標語」グランプリ作品を表紙に掲げ、住民の協力も得た広報とした。
- ・各事業の紹介や社協の役割を伝えるとともに、写真やイラストを多く活用し手に取っていただける広報作りを目指した。

#### (2) Facebook（フェイスブック）での情報発信

京丹波町社協の事業に関する情報や町内の地域福祉活動の取組み等について、迅速に情報提供することを目的にFacebook（フェイスブック）による情報発信を行う。

①投稿実績 43回

### (3) 福祉まつりの開催

今年度はボランティア活動功労者表彰および地域障害者福祉功労者表彰の式典を行った。

地域障害者福祉功労者表彰は、合併20周年を記念して共同作業所において障害のある方々の就労訓練として日頃から作業をいただいている地域の企業や個人事業主の方々へ感謝状を贈呈した。

■日時 令和7年9月28日(日) 午後1時30分～午後3時30分

■場所 和知ふれあいセンター

■内容 ○オープニングセレモニー 下山小学校6年児童

○式典(感謝状贈呈)

- ・ボランティア活動功労者表彰(団体表彰2団体/個人表彰67名)
- ・地域障害者福祉功労者表彰(17事業所)

○つながる幸せフォトコンテスト入選作品発表及び表彰

京丹波町社会福祉協議会会長賞 1点

ボランティアバンク運営委員長賞 1点

○記念講演

「すこやかに暮らすための京丹波町づくりの秘訣」

講師 西岡大輔氏

京都大学大学院医学研究科社会的インパクト評価学講座特定准教授/南丹市国民健康保険美山林健センター診療所所長

■参加数 112名



#### ■つながる幸せフォトコンテスト表彰作品



▲京丹波町社会福祉協議会会長賞  
「大事なつながり」森 峯子 様 (森区)



▲ボランティアバンク運営委員長賞  
「文七踊りを楽しむ」廣瀬 誠 様 (角区)

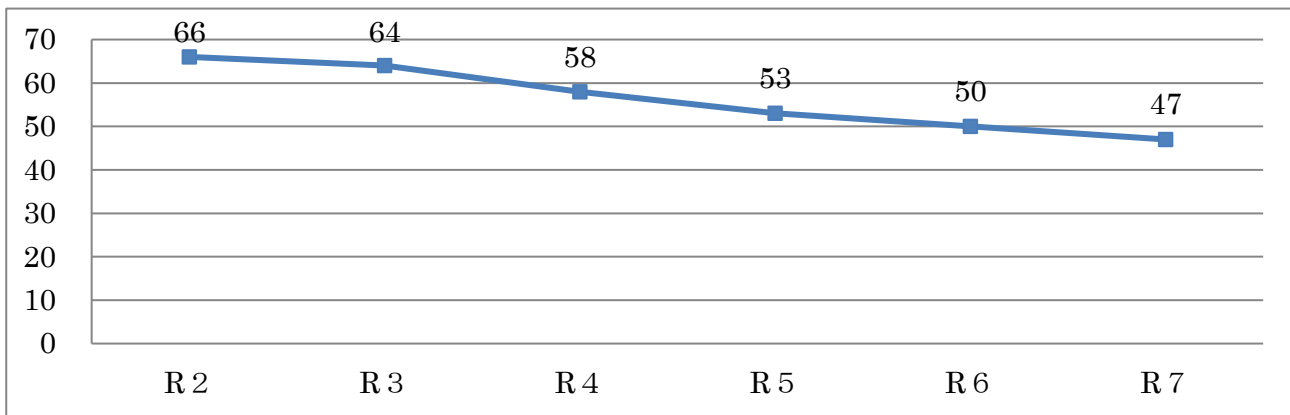
## 2 地域で安心した生活を送るために・・・“つながり”を大切に活動の展開

### (1) ふれあいいいききサロン活動の展開

#### ① ふれあいいいききサロン各地区の設置状況

丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
(令和7年度実績) 20サロン 障害者サロン1 広域サロン1を含む	(令和7年度実績) 21サロン	(令和7年度実績) 6サロン 広域サロン1を含む	(令和7年度実績) 47サロン
(令和6年度実績) 22サロン 障害者サロン1 広域サロン1を含む	(令和6年度実績) 23サロン	(令和6年度実績) 5サロン 広域サロン1を含む	(令和6年度実績) 50サロン

#### ※サロン設置数の推移



#### 【成果・課題】

- ・昨年に続き、サロン数の減少が見られた。原因は、活動者の負担感や後継者の不足が原因と考えられる。他にも、「まだサロンに行く年齢ではない」という声もあり、サロン＝高齢者というイメージが住民に強いこともサロン数が増えない原因とみられる。
- ・新たにサロンが立ち上がった地域もあり、活動者、参加者と役割を分けずに全員が参加者としてサロンを実施されている。このような形も今後のサロンの在り方の1つとして情報発信を行い、活動を広げていくことが課題解決につながると考えている。



## (2) 小地域ボランティア高齢者支援事業

### ① 傾聴ボランティアによる訪問活動の展開

	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
定例会回数	1 2回	6回	1 1回	2 9回
訪問回数	4 1回	1 1回	4 4回	9 6回
延べ訪問活動者数	4 1名	2 3名	5 6名	1 2 0名
延べ活動者数	9 9名	3 6名	6 4名	1 9 9名
訪問対象件数	9名	5名	3名	1 7名
サークル員数	4名	2名	6名	1 2名

#### 【成果・課題】

- ・活動者が減っていることもあり、傾聴講座の案内を全戸配布し多くの住民の方に周知した。講座への参加人数は増えたが、活動者の増加には繋がっていない。しかし講座参加者が近所の付き合いや地域での見守り等に活かされていると聞き講座開催の効果があった。

## (3) 京丹波町見守りネットワーク事業（絆ネット支援事業）・・・京丹波町委託事業

地域住民や事業者の方々が、日常生活や業務の中で異変や困りごとに気づいた時に、社協へ連絡していただくことで関係者が状況確認を行い、より多くの目で地域をさりげなく見守る活動を行う。

■京丹波町見守りネットワーク事業協力事業所登録数 62事業所

■通報件数 5件

#### 【成果・課題】

- ・通報は5件あり安否確認がとれた。通報時には関係機関と連携し、職員が出向くなどして確認を行っている。
- ・今後も引き続き協力事業所を増やしていき、見守り活動や地域活動に協力してもらえる機会をつくっていききたい。

### わんわんパトロール

「わんわんパトロール」は、地域住民が愛犬との散歩を通じて地域内を見守る活動とする。既に日常生活上にある犬の散歩の時間を、地域の見守りの機会と捉えることで見守りの目を増やすことが期待でき、地域の見守りネットワークの強化、地域コミュニティの活性化を図り、住民相互のつながりを深めることを目指す。

■わんわんパトロール登録数 37名

■通報件数 0件

■交流会 わんわんパトロール会員同士の交流を目的に「わんわんパトロール交流会」を実施。与謝野町社会福祉協議会永嶋悦子氏を講師に迎え、わんわんパトロールの取り組みについて講演していただいた。参加者8名で日々の取り組みを話し合うグループワークを行った。

#### 【成果・課題】

- ・交流会の中で、「地域の見守りをする意識が高まった」「犬を連れていくことで住民と話すきっかけにもなる」という意見があり、普段は個々の活動だが思いを共有する良い機会となった。
- ・令和8年度も交流会を実施し、見守りの意識の向上に取り組んでいきたい。



### 3 住民参加の地域福祉推進事業

#### (1) 社会福祉体験学習事業の実施

##### 事業のねらい

社会福祉体験学習事業は、社会福祉協議会が目指す「福祉の風土づくり」に向け、次世代の京丹波町を担う中学生・高校生を対象に、『福祉教育から福祉共育へ』というねらいのもとに実施。

生徒自身が「自主的な意思のもと」で参加し、以下のことについて学ぶことをねらいとする。

- ①福祉施設や地域において子どもや高齢者、障害のある人たちとふれあうことにより、命の尊さや思いやり、やさしさ、人としての本当の強さを培う。
- ②実際に福祉施設で働く職員の体験をすることにより、生徒達の将来の夢（福祉職場への就職の夢やボランティア活動への参加の意欲など）を具体的に想像できるようにする。
- ③自分たちの住む地域を知る機会として自分たちの住む地域を大切に思う心を培う。

開催日	内 容	参加人数
8月19日・20日	みずほこども園（高校生）	1名
8月20日・21日・22日	たんばこども園（高校生）	1名
中学生参加者合計		0名
高校生参加者合計		2名
参加者合計		2名

##### 【成果・課題】

- ・中学1年から参加されている生徒もおり、継続した取り組みの中で落ち着いて活動することができている。
- ・参加生徒にとっては、進路を考える中での参加で貴重な体験となっている。



#### (2) デイサービスキッズボランティア体験学習の実施

##### 事業のねらい

福祉教育として、小学生が高齢者と交流する機会をつくり、やさしさや思いやりの心を培うことを目的とする。

##### 【夏休み期間】

日 時：令和7年7月19日(土)～8月1日(金)

受入事業所：デイサービスほほえみ・クローバーデイサービス・くろまめさん

参加者：9名

活動日程：累計7日

開催日	内 容	延べ参加人数
7月20日(日)～8月1日(金)	クローバーデイサービス	7名
7月19日(土)～7月26日(土)	デイサービスほほえみ	4名
7月25日(金)・7月29日(火)	くろまめさん	12名

小学生参加者合計	6名
中学校生参加者合計	3名
参加者合計	9名

**【春休み期間】**

日時：令和8年3月25日(水)～4月4日(土)

受入事業所：くろまめさん・クローバーデイサービス・長老苑デイサービスセンター

参加者：8名

活動日程：累計4日

開催日	内 容	延べ参加人数
令和8年3月27日(金)・3月30日(月)	くろまめさん	8名
令和8年 3月31日(火)	クローバーデイサービス	2名
令和8年 4月1日(水)	長老苑デイサービスセンター	1名
小学生参加者合計		6名
中学校生参加者合計		2名
参加者合計		8名

**【成果・課題】**

- ・各事業所の利用者と交流されている姿をみると、お互いが楽しそうに会話をされたり、折り紙をされたり貴重な交流の時間であった。
- ・町内の介護サービスを利用されている高齢者の生活を知ること、普段の暮らしの中で高齢者に限らず、地域の方に対しての思いやりの心を持ってもらうことに繋げるきっかけづくりになっていると感じる。
- ・デイサービスセンターの事業内容を知り、楽しいと感じることで福祉を身近に捉えてもらう機会となった。

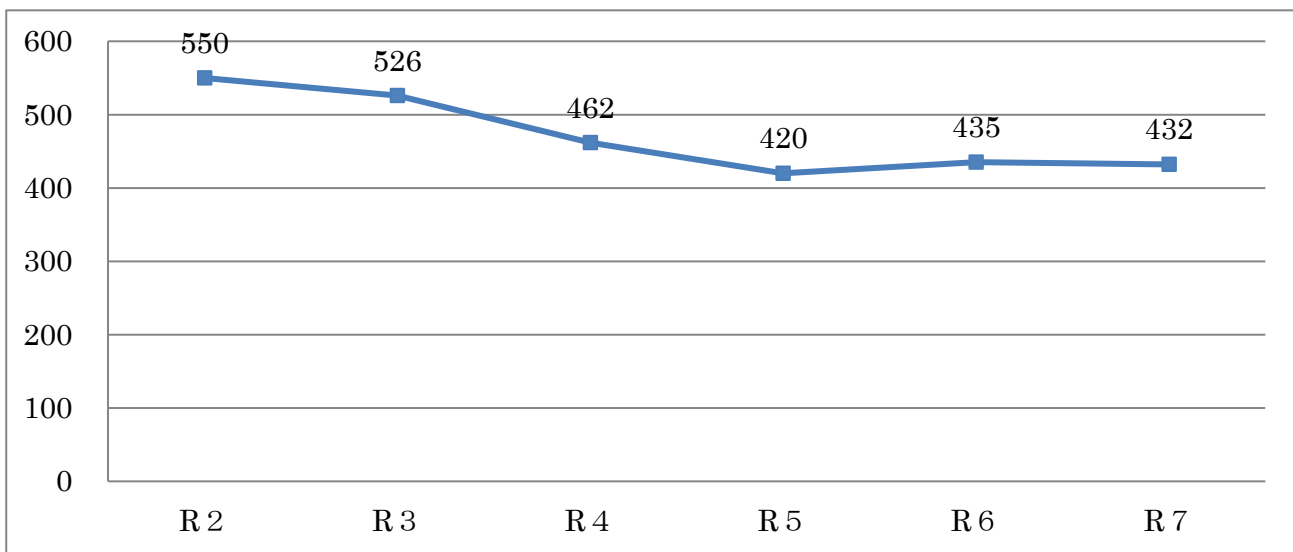


## 【ボランティア振興事業】

### 1 ボランティアバンク登録状況

	性別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
丹波	男	14	0	1	3	1	15	34
	女	9	6	13	9	24	111	172
	計	<b>23</b>	<b>6</b>	<b>14</b>	<b>12</b>	<b>25</b>	<b>126</b>	<b>206</b>
	前年	16	7	11	11	36	135	216
瑞穂	男	0	0	0	0	0	11	11
	女	0	0	0	2	18	79	99
	計	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>18</b>	<b>90</b>	<b>110</b>
	前年	0	0	0	3	18	91	112
和知	男	0	0	0	1	0	11	12
	女	0	0	1	2	25	76	104
	計	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>25</b>	<b>87</b>	<b>116</b>
	前年	0	0	1	3	26	77	107
<b>合計</b>		<b>23</b>	<b>6</b>	<b>15</b>	<b>17</b>	<b>68</b>	<b>303</b>	<b>432</b>
前年度		16	7	12	17	80	303	435
比較 (%)		143.8	85.7	125.0	100.0	85.0	100.0	99.3

※ボランティアバンク登録者数の推移 (単位:人)



## 2 ボランティア活動状況報告

### (1) ボランティアグループ活動報告

#### ①丹波地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	要約筆記ボランティア「イヤフレンズ」	15回	41名
2	朗読ボランティア「ともしび」	31回	104名
3	モンキーズ&ハッピーサークル	2回	17名
4	演芸ボランティア「民謡みやび会」【R7で休会】	0回	0名
5	演芸ボランティア「瑞舟会」	40回	120名
6	演芸ボランティア「丹の会」	5回	17名
7	演芸ボランティア「すみれ会」	6回	34名
8	絵手紙ボランティア	14回	77名

9	保育ボランティア	20回	45名
10	美容ボランティア「愛(めぐみ)の会」	10回	50名
11	豊田あじさいの会	18回	112名
12	富田萩の会	11回	84名
13	傾聴ボランティア「うさぎの耳」	53回	101名
14	アロハフラピカケ	33回	613名
15	遊び広場もこもこ	13回	39名
16	和太鼓「えん」	54回	1,026名
17	京丹場SUN3協会	9回	35名
18	コーラスカナリア	26回	210名
<b>丹波支所活動計(イ)</b>		<b>330回</b>	<b>2,725名</b>

②瑞穂地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	収集ボランティア「めぐみ」	6回	21名
2	要約筆記ボランティア「ささやき」	3回	3名
3	朗読ボランティア「あかり」	11回	51名
4	暮らしの応援ボラ手作り介護用品「コスモス」	7回	29名
5	押し花ボランティア「花かご」	10回	50名
6	傾聴ボランティア「なかよし会」	17回	36名
7	京丹波スリーA	11回	63名
8	くるみの会	25回	50名
9	手話サークル「ありんこ」	17回	66名
<b>瑞穂支所活動計(ロ)</b>		<b>107回</b>	<b>369名</b>

③和知地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	要約筆記サークル「くさぶえ」	65回	105名
2	朗読ボランティア「こだま会」	12回	57名
3	ガイドヘルパー「みちづれ」	1回	3名
4	十三の会	78回	105名
5	虹の会	64回	59名
6	お誕生カードづくりボランティア「天花」	5回	16名
7	手芸ボランティア「モチーフ」	11回	86名
8	ふれあい給食サービス「調理ボランティア」	20回	110名
9	ふれあい給食サービス「配食ボランティア」	20回	228名
10	彩いろグループ	14回	138名
11	才原グループ「ふきのとう」	6回	18名
<b>和知支所活動計(ハ)</b>		<b>296回</b>	<b>925名</b>
<b>総合計(イ+ロ+ハ)</b>		<b>733回</b>	<b>4,019名</b>

## (2) 個人ボランティア活動報告

活 動 内 容	活動回数	活動者数
ふれあい給食「かけはし弁当」 帯び絵原画書き	20回	20名
ふれあい給食「かけはし弁当」 帯び絵名前書き	19回	19名
保育ボランティア	8回	14名
配食ボランティア (瑞穂地区)	255回	260名
配食ボランティア (和知地区)	123回	123名
合 計	425回	436名

### 【成果・課題】

- ・昨年度から引き続き和知小学校の児童に毎日給食の帯絵の色塗りをお願いしている。また、今年度は夏休みを利用し配食（利用者宅に夕食のお弁当を届ける）ボランティアも体験してもらった。このような取り組みをとおして、小学生に気軽にボランティアを体験できる機会をつくりボランティアや自分の住む町に対する関心をもつきっかけになればと思う。
- ・ボランティア活動の継続が難しい団体が増えてきている。活動者の高齢化や、担い手不足が原因と考えられる。
- ・ボランティア育成研修やボランティア活動体験などを検討し、京丹波町内のボランティア活動の向上を目指していく。

## 3 ボランティア研修・講座・交流会の開催

### (1) サロン活動者連絡会

研修・講座名	開催日・場所・参加人数	内 容
サロン連絡会 (瑞穂地区)	令和7年7月24日(木) 瑞穂保健福祉センターほほえみ 参加者 21人	社協の地域福祉活動計画を再考し、地域のこれからを話し合う。
サロン連絡会 (丹波地区)	令和7年7月29日(火) 京丹波町健康管理センター会議室 参加者 13人	社協の地域福祉活動計画を再考し、地域のこれからを話し合う。
サロン連絡会 (和知地区)	令和7年7月31日(木) 和知高齢者コミュニティセンター 参加者 6名	社協の地域福祉活動計画を再考し、地域のこれからを話し合う。



## (2) 傾聴講座

研修・講座名	開催日・場所・参加人数	内 容
○傾聴講座 あなたは地域の心の門番 ～辛い気持ちに寄り添う ために～	令和8年3月14日(土) 13:00～15:00 京丹波町役場本庁 防災会議室  16名参加	講師：NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内志津香氏 内容・傾聴の基本（声かけ・話を聴く姿勢） ・3人1組になりロールプレイ演習 （話し手、聴き手、オブザーバー） ・自分を大切にする話 ・マインドフルネス瞑想



## (3) コミュニケーション麻雀

研修・講座名	開催日・場所・参加人数	内 容
コミュニケーション麻雀 in 和知	令和8年3月6日(金) 13:30～16:00 京丹波町社協和知支所  参加者 10名	講師 あそびの工房 もくもく屋 田川雅規 氏  和知地区住民を対象に、居場所づくりの展開 を目的としてコミュニケーション麻雀を実施

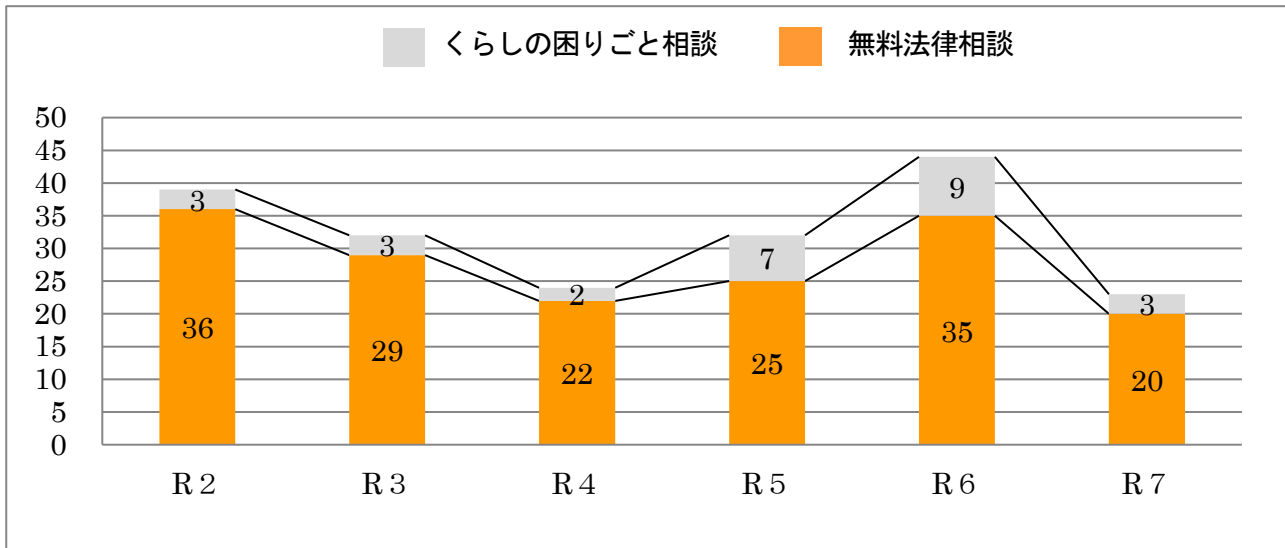


## 【厚生福祉事業】

### 1 暮らしの困りごと相談事業（心配ごと相談）

※来談者の推移

(単位：人)



暮らしの困りごと相談	開催日	来談者	無料法律相談	開催日	来談者
和知	4月16日	0	瑞穂	4月7日	2
丹波	5月12日	1	丹波	5月12日	4
瑞穂	6月11日	0	和知	7月7日	1
和知	7月16日	0	瑞穂	8月4日	3
丹波	8月6日	0	丹波	10月6日	2
瑞穂	9月10日	0	和知	11月10日	0
丹波	10月6日	0	瑞穂	12月10日	2
和知	11月12日	1	丹波	2月2日	5
瑞穂	12月17日	0	和知	3月2日	1
和知	1月7日	0			
丹波	2月2日	1			
瑞穂	3月11日	0			
<b>合計</b>		<b>3件</b>	<b>合計</b>		<b>20件</b>
6年度実績合計		9件	6年度実績合計		35件

#### 【成果・課題】

- ・暮らしの困りごと相談、無料法律相談両方ともに前年より相談件数は減少。
- ・暮らしの困りごと相談については相談者が無い日も多いことから、次年度より開催日数を半分に減らすこととなった。

## 2 福祉資金貸付事業

低所得世帯や障がい者・高齢者が属する世帯を対象に、その世帯の状況・必要性に応じて無利子または低利で資金を貸し付ける事業。

### (1) 新規貸付状況

	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
生活福祉資金貸付	1	0	0	1
くらしの資金貸付	0	0	0	0

#### 【成果・課題】

- 生活福祉資金では、緊急小口資金1件の貸付を行った。その他、相談はあったが貸付条件に合わず貸付は行わなかった。

### (2) 特例貸付フォローアップ事業

#### ①窓口相談及び訪問等のアウトリーチ（※）による償還相談および手続き支援

（※）アウトリーチとは…支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し、行政や支援機関などが積極的に働きかけて情報・支援を届けること。本事業では、借受人に対して訪問や電話による相談支援を行った。

○償還猶予・分割償還に係る周知・相談・申請手続き支援

○償還免除に係る案内（コールセンターの案内）

償還相談件数	アウトリーチ	借受人から	合計
	129件	17件	146件

上記のうち

猶予申請	分割申請	免除案内
2件	1件	1件

#### ②未償還者及び未応答者等への生活状況・実態の把握

アウトリーチ	生活状況等が判明
65件	5件

生活状況等が判明したもののうち

猶予申請	分割申請	免除案内	他機関等への連携など
0件	0件	0件	0件

#### ③償還猶予中の借受人世帯の支援

○償還猶予中の見守り支援や生活再建に向けた支援

○自立相談支援機関等へのつなぎ、連携

○償還猶予の延長や償還免除に係る意見書作成

猶予中の支援	他機関等との連携	意見書作成
2件	0件	1件

#### 【成果・課題】

- 償還未応答者を中心に架電し、連絡が取れた方へは生活状況（就労状況や収入状況など）の聞き取りを行った。
- 郵送戻りの方、連絡が取れない方については、登録住所へ訪問し、府社協へ住基調査の依頼を行った。
- 京都府の物価高騰・生活困窮者支援事業費補助金を活用し、物資提供及び相談会を開催することができた。直接顔を合わせることで、相談者の気持ちに寄り添える機会になった。

### 3 総合相談事業

#### (1) 相談受付内容

単位：件

金銭関係	介護等相談	書類等手続き	その他	合計
8	0	1	16	25

#### (2) 相談対応結果

単位：件

他機関紹介	多職種連携対応	社協事業対応	その他	合計
2	4	5	14	25
シルバー人材センター、年金事務所、行政（大阪）、病院（大阪）	丹波篠山市社協、クローバーサービス、京丹波町（包括、福祉支援課、土木建築）、南丹保健所、南丹警察署	地権事業、生活福祉資金、フードバンク	地元業者対応、成年後見制度紹介、傾聴、フードバンク対応、ごみ屋敷、引きこもり、住居不法侵入（捜査協力）	

#### 【成果・課題】

- ・年間の相談件数は少なかったが、1つ1つの問題・課題が複雑なものが多かった。
- ・今年度も金銭関係の相談が多かったが、中には生活福祉資金の貸付に関連して、相談を兵庫県の丹波篠山市社協と連携し対応をしたケースもあった。その他、南丹警察署の捜査に協力したケースや、京丹波町や南丹保健所と連携して対応をしたケースもあった。

### 4 フードバンク

生活困窮等で支援を必要とされる世帯に対し、町内の事業所や住民から寄贈いただいた食材等を提供する。

申込み経路	提供世帯数	ご寄付いただいた食材等
本人	3世帯	米・レトルト食品・缶詰・乾物・調味料
福祉支援課	4世帯	
南丹保健所	1世帯	
社協	10世帯	
延べ提供回数	23回	

#### ■町内の事業所のご協力

- ・株式会社創味食品 丹波工場
- ・石井食品株式会社 京丹波工場
- ・ファミリーマート FC 京丹波蒲生店

#### ※令和7年度 京都府物価高騰対策・生活困窮者支援事業

物価高騰の影響により生活に困窮されている京都府内の世帯に対し、支援物資（食料品等の生活必需品）を提供する活動とともに、生活を送る上での困りごとを聴く活動をする事業。

	提供世帯数	提供品目
第1期（12月実施）	18世帯・21人	米・レトルト食品・トイレットペーパー ティッシュ等
第2期（1月実施）	21世帯・23人	

#### 【成果・課題】

- ・申し込みをされた方には提供時に生活状況の聞き取りを行い、他に困りごとがないか確認をしている。その聞き取りの中で関係機関と連携し生活課題の解決に向けた支援が行えた。
- ・京都府が実施する物価高騰対策支援事業は、本会では新型コロナウイルス特例貸付世帯に対し相談会を兼ねて実施した。未だに生活に困窮されている世帯の方が多く、物価高騰はさらに生活費を圧迫している。

## 【福祉関係組織活動支援】

### 1 日赤社員増強運動

(単位：円)

項目	丹波	瑞穂	和知	合計
社資協力募金額	589,944	456,699	388,461	1,435,104

### 2 共同募金実績

(1) 赤い羽根共同募金運動 ⇒ 10月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項目	内容	合計	
募金額	令和7年度募金額	2,543,113円	
配分総額	令和6年度募金の配分金	2,117,876円	
前年度配分金	令和5年度募金の配分金(未交付分)	886,362円	
配分内訳	①啓発活動	広報ほほえみ発行	691,000円
	②高齢者福祉事業	町老連助成	86,100円
	③障害児・者福祉活動	町身体障害者福祉会等助成	190,000円
	④母子・父子福祉活動	町母子寡婦福祉会助成	70,000円
	⑤児童青少年福祉活動	町内小中学校福祉活動助成	179,518円
	⑥地域福祉活動	公募助成・かがやき活動・ボランティア活動支援・一人暮らし高齢者交流会、福祉まつり、貸出用具整備	1,264,998円
	⑦防災・災害対策事業	災害時用備品の購入	37,000円
	⑧未交付配分金	京都府共同募金会へ繰越金を送金	485,622円

(2) 歳末たすけあい募金 ⇒ 12月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項目	内容	合計	
令和6年度募金額	戸別募金、法人募金、個人募金	1,425,598円	
配分総額	令和7年度募金の配分金	1,311,598円	
前年度配分金	令和6年度募金の配分金(未交付分)	219,000円	
配分内訳	①在宅援助活動	激励金の配布	646,000円
	②在宅サービス事業	年末お掃除隊、買物支援、介護用防水シート配布	595,598円
	③共同作業所支援	共同作業所交流会支援	100,000円
	④未交付配分金	京都府共同募金会へ繰越金を送金	189,000円

(3) 京丹波町共同募金運営委員会・・・1回

R7.5.27	①令和6年度事業報告及び決算について ②令和7年度募金助成計画について ③令和7年度募金推進計画及び予算について ④令和6年度未交付配分金事業計画について
---------	--

(4) 京丹波町共同募金委員会審査委員会・・・4回

R7.4.28	①令和6年度事業報告 ②令和7年度事業計画 ③令和7年度じぶんの町を良くする活動助成について ④令和7年度団体助成について
R7.7.29	①じぶんの町を良くする活動助成ヒアリング審査 ②団体(学校)助成審査
R7.9.2	①団体助成(当事者団体)ヒアリング審査 ②歳末たすけあい激励金事業について
R7.11.25	①歳末たすけあい激励金配分について

#### **【成果・課題】**

- ・町合併後 20 年がたち地域を取り巻く環境や福祉課題も変化している中で、7 年度は当事者団体や学校への助成事業について基準や審査の方法などを見直した。
- ・貴重な財源をもとに、地域の福祉課題解決のために活動されている団体等をしっかり応援できるような仕組みづくりを今後も検討していきたい。

### **3 京丹波町老人クラブ連合会**

京丹波町老人クラブ連合会と丹波・瑞穂それぞれの支部活動を支援するため、事務局機能を担っている。

## 【災害支援活動と災害ボランティアセンター活動報告】

### 1 他市町村社協災害ボランティアセンター支援

#### (1) 京丹波町災害ボランティアセンターの設置・運営

令和7年度は、町内で災害ボランティアセンターを設置する大きな被害は無かった。

#### (2) 他市町村社協災害ボランティアセンター支援

##### ①南丹ブロック社協との連携・共同

南丹ブロックの災害ボランティアセンター相互協定に基づき、合同訓練に向けた検討会を9回開催した。

訓練日当日は大雪のため中止となったが、検討会を通じて各社協の担当者の連携が深められた。中止となった内容は次年度に持ち越して開催する予定。

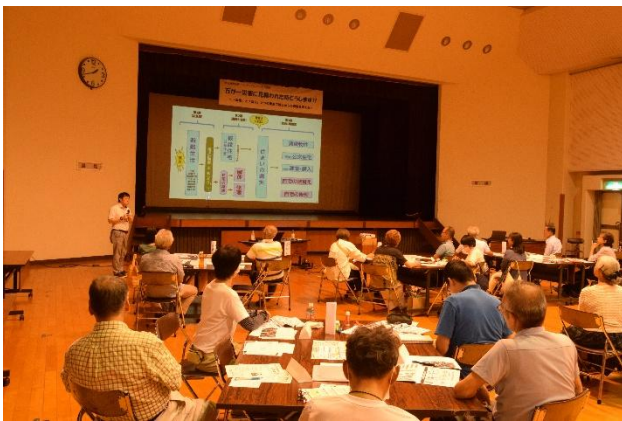
##### ②京都府市町村社協連合会の派遣

令和7年度、本会から派遣等の支援はなかった。

### 2 研修・講座・訓練・会議等

研修名	開催日	内容
第1回京丹波町災害ボラセン運営検討会議（担当者会議）	4/24（木）	南丹ブロック災ボラ合同事業、町民講座、職員研修について
第2回京丹波町災害ボラセン運営検討会議（担当者会議）	5/22（木）	南丹ブロック災ボラ合同事業、町民講座、職員研修について
第1回南丹ブロック災ボラ 会議	6/16（月）	相互協定に基づく取組みについて検討
京都府災害ボランティアセンター研修	6/23（月）	ICT化について
国際交流協会との打ち合わせ	7/9（水）	合同事業、町民講座について
第3回京丹波町災害ボラセン運営検討会議（担当者会議）	7/18（金）	南丹ブロック災ボラ合同事業、町民講座、職員研修について
京丹波町災ボラセンター町民講座	8/3（日）	永野海氏(弁護士/防災士)を講師に招き「万が一災害に見舞われた時どうします!？」を開催。参加者37名
第2回南丹ブロック災ボラ 会議	8/7（木）	相互協定に基づく取組みについて検討
国際交流協会との打ち合わせ	8/7（木）	合同事業、町民講座について
京都府災害ボランティアセンター研修	8/8（金）	ICT化について
宮津市総合防災訓練（初動支援チーム）	8/31（日）	センター設置運用訓練。職員1名。
第3回南丹ブロック災ボラ 会議	9/17（水）	相互協定に基づく取組みについて検討
第4回京丹波町災害ボラセン運営検討会議（担当者会議）	10/2（木）	職員研修について
第4回南丹ブロック災ボラ 会議	10/10（金）	相互協定に基づく取組みについて検討
第5回南丹ブロック災ボラ 会議	11/13（木）	相互協定に基づく取組みについて検討
第6回南丹ブロック災ボラ 会議	12/2（火）	相互協定に基づく取組みについて検討

第7回南丹ブロック災ボラ 会議	12/17 (水)	相互協定に基づく取組みについて検討
京丹波町社協全体職員研修 (災ボラ研修)	12/21 (日)	京都府災害ボランティアセンター藤原康花氏を講師に招き、「なぜ社協が災害ボランティアセンターを運営するのか」についての講義。その後『災害VC MSG (災害ボランティアセンターマッチング・シュミレーション・ゲーム)』というカードゲームで被災者と災ボラのマッチング作業を疑似体験する研修を行った。 参加者28名
第8回南丹ブロック災ボラ 会議	1/13 (火)	相互協定に基づく取組みについて検討
南丹ブロック災ボラ合同事業	2/8 (日)	荒天のため中止
第9回南丹ブロック災ボラ 会議	2/26 (木)	相互協定に基づく取組みについて検討



▲京丹波町災害ボランティアセンター町民講座 (R7.8.3 山村開発センターにて)

#### 【成果・課題】

- ・災害ボランティアセンター町民講座では、今年度、永野海氏(弁護士/防災士)を講師に招き「万が一災害に見舞われた時どうします!？」を開催した。「被災者再建カード」を使ってワークショップを行ったほか、京丹波町総務課危機管理室や京都府災害ボランティアセンターからも講演いただいた。今回は被災後の対応を知ってもらう事で、防災につなげることを目的として行い、多くの方に関心を持って聴いてもらうことができた。
- ・職員研修では、京都府災害ボランティアセンターを講師に招き全体職員研修会を実施した。『災害ボランティアセンターとは何か』という基礎的なことから災ボラセンターの運営まで、講演とカードゲームを用いたグループワークにより、災ボラセンターを社協が担っている意味・重要性を学ぶことができた。